



平成24年12月25日発行（隔月一回25日発行）

Circulation Journal 第77巻1号 付録（通巻第128号）

日本循環器学会 会 告

Contents

- 1** 第77回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内
- 2** 第77回日本循環器学会学術集会
 - プレレジストレーションのお知らせ
 - プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項
 - 学術集会問合せ先のご案内
 - コメディカルセッション開催要項
 - 関連会合開催申込みについてのご案内
- 32** 編集委員長からのメッセージ
- 34** 循環器専門医制度
 - 2013年度以降に「循環器専門医」受験申請者・
研修施設研修関連施設の指導責任者の方へ
 - 専門医認定更新の手続きの流れ
 - 専門医認定更新研修の必修化について
 - 「専門医カード」再発行のご案内
 - その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ
- 41** 地方会・関連学会・研究会情報
 - 専門医研修単位認定学会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 45** ACLS 講習会情報
- 50** 映像教材販売のご案内
- 57** 和文論文投稿誌「心臓」年間購読申し込みのご案内
- 58** 事務局からのお知らせ
 - 学会誌 Circulation Journal の送本について
- 60** 登録事項変更届

**2013
No.1**

本誌の内容については、会員限定ホームページでご覧になれます。 <http://www.j-circ.or.jp/>

★次号2013 NO.2は、2月25日発行予定です。

第77回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内

第77回一般社団法人日本循環器学会社員総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

日時：2013年4月26日(金) 15時～16時
会場：東京国際フォーラム 5階 ホール B5
議長：永井 良三（一般社団法人日本循環器学会代表理事）

(注)

社員(代議員)には、4月初め頃に社員総会開催のご案内(メール・希望者は郵送)を別途お送りします。

以上



第77回日本循環器学会学術集会 (JCS2013)

第77回日本循環器学会学術集会 (JCS2013)

会 期：2013年 3月15日(金)～17日(日)
会 長：水野 杏一 (日本医科大学医学部長)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)

メインテーマ：世界へ翔く日本の循環器病学

Advancing Cardiovascular Medicine: International Harmony Towards Global Progress

1. 一般演題(口述, ポスター, Featured Research Session)

2. 美甘レクチャー

Roberto Bolli (University of Louisville, USA)
座長：堀 正二 (大阪府立成人病センター)

3. 真下記念講演

遠藤 章 (東京農工大学／バイオフィーム研究所)
座長：矢崎 義雄 (国際医療福祉大学)

4. 百一賀記念特別講演「医療プロフェッショナルの育成」

日野原 重明 (聖路加国際病院)
座長：河合 忠一 (医仁会武田総合病院／京都大学名誉教授)

5. 会長講演

水野 杏一 (日本医科大学医学部長)

6. 特別講演

- 1) Ik-Kyung Jang (Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA)
座長：室原 豊明 (名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学)
- 2) Carolyn L. Geczy (The University of New South Wales, Australia)
座長：野出 孝一 (佐賀大学医学部循環器内科)
- 3) Hugo Katus (Heidelberg University, Germany)
座長：林 秀晴 (浜松医科大学第3内科)
- 4) Harvey D. White (Auckland City Hospital, New Zealand)
座長：磯部 光章 (東京医科歯科大学大学院循環制御内科学)
- 5) Valentin Fuster (Mount Sinai School of Medicine, USA)
座長：小室 一成 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科)
- 6) Douglas P. Zipes (Indiana University, USA)
座長：新 博次 (日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科)
- 7) Renu Virmani (CV Path Institute, Inc., USA)
座長：上田真喜子 (大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学)
- 8) James. L. Cox (Washington University, USA)
- 9) Peter Libby (Brigham and Woman's Hospital, Harvard Medical School, USA)
座長：光山 勝慶 (熊本大学大学院生命科学研究部医学系生体機能薬理学分野)
- 10) Jagat Narula (Mount Sinai School of Medicine, USA)
座長：木原 康樹 (広島大学大学院医歯薬学保健学研究科循環器内科学)

7. 会長特別企画

(1) International Imaging Conference

1) How do we use imaging device before PCI?

座長：Stephen Wai Luen Lee (The University of Hong Kong, Queen Mary Hospital)
Seung-Jung Park (University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center)

演者：Bon-Kwon Koo (Seoul National University)
Seung-Jung Park (University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center)
Stanly Chia (National Heart Center, Singapore)
上野 高史 (久留米大学病院循環器病センター)

2) Why do we use imaging device after PCI?

座長：Yangsoo Jang (Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System Division of Cardiology)

平山 篤志 (日本大学医学部附属板橋病院内科学講座循環器科内科部門)
演者：Nam Chang-Wook (Keimyung University College of Medicine, Dongsan Medical Center)
前原 晶子 (Columbia University Medical Center Cardiovascular Research Foundation)
Jung-Sun Kim (Yonsei University College of Medicine)
高野 雅充 (日本医科大学千葉北総病院循環器センター)

3) Clinical application of future imaging technology

座長：赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学循環器内科)
Ik-Kyung Jang (Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School)
演者：James G. Fujimoto (Massachusetts Institute of Technology)
内田 康美 (循環器学研究振興財団)
James E. Muller (InfraReDx, Inc.)
Justin Davies (Imperial College)

(2) The challenges of translation from discovery to therapy in 21st century (JCS / ISHR joint symposium)

座長：堀 正二 (大阪府立成人病センター)
Metin Avkiran (King's College London)
演者：堀 正二 (大阪府立成人病センター)
Metin Avkiran (King's College London)
Roberto Bolli (University of Louisville)
湯浅 慎介 (慶應義塾大学循環器内科)
南野 哲男 (大坂大学医学系研究科医学専攻循環器内科学)

(3) 世界へ翔く循環器医学の発見・発明 “メイド・イン・ジャパン”

- 1) 座長：福田 恵一 (慶應義塾大学循環器内科)
演者：中辻 憲夫 (京都大学物質・細胞統合システム拠点)
- 2) 座長：山口 徹 (虎の門病院)
小川 聡 (国際医療福祉大学三田病院)
演者：加藤 貴雄 (日本医科大学付属病院循環器内科)
内田 康美 (循環器学研究振興財団)
南野 直人 (国立循環器病研究センター研究所分子薬理学)
佐藤 光 (千代田中央病院)

※展示会場でパネル展示も行います。

(4) 症例から学ぶ

1) 心房細動に対する Total Management

座長：三田村秀雄 (東京都済生会中央病院心臓病臨床研究センター)
小林 義典 (東海大学医学部付属八王子病院循環器内科)
パネリスト：副島 京子 (杏林大学付属病院循環器内科)
谷本耕司郎 (慶應義塾大学医学部循環器内科)
吉岡公一郎 (東海大学循環器内科)
森田 典成 (東海大学医学部付属八王子病院循環器内科)

2) この冠動脈疾患をどうする？

座長：一色 高明（帝京大学医学部内科学講座）

吉野 秀朗（杏林大学医学部第二内科）

パネリスト：上妻 謙（帝京大学医学部附属病院循環器内科）

青木 二郎（三井記念病院循環器内科）

高昌 秀安（杏林大学附属病院循環器内科）

桃原 哲也（榊原記念病院循環器内科）

3) EBM の実践：この心不全症例にどのように対応するか？

座長：平山 篤志（日本大学医学部内科学系循環器内科学分野）

佐藤 直樹（日本医科大学武蔵小杉病院内科・循環器科・集中治療室）

パネリスト：加藤真帆人（日本大学医学部内科学系循環器内科分野）

坂田 泰史（大阪大学大学院医学研究科循環器内科学）

山本 英世（日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科）

石原 嗣郎（製鉄記念八幡病院 循環器科内科）

4) 治療抵抗性高血圧へのアプローチ

座長：苅尾 七臣（自治医科大学内科学講座循環器内科学部門）

安東 克之（東京大学大学院医学系研究科分子循環代謝病学講座）

パネリスト：藤田 恵（東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科）

コメンテーター：高橋 克敏（東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科）

パネリスト：雪吹 周生（日本医科大学千葉北総病院 循環器内科）

コメンテーター：川井 真（東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科）

パネリスト：星出 聡（自治医科大学内科学講座循環器内科学）

コメンテーター：小谷英太郎（日本医科大学多摩永山病院循環器内科）

5) この弁膜症：あなたならどうする？

座長：山崎 純一（東邦大学医療センター大森病院循環器内科）

高山 守正（榊原記念病院循環器内科）

パネリスト：久武 真二（東邦大学大森病院内科学講座循環器内科分野）

木内 俊介（東邦大学医学部内科学講座循環器内科分野）

矢川真生子（（公財）日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院循環器内科）

石村 昌之（千葉大学病院循環器内科）

6) 非心臓手術の術前リスク評価と対応

座長：山科 章（東京医科大学第二内科循環器内科）

代田 浩之（順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学）

パネリスト：香坂 俊（慶應義塾大学病院循環器内科）

武井 康悦（東京医科大学循環器内科）

宮内 克己（順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学）

佐藤 徹（杏林大学医学部循環器内科）

7) 失神・めまいへのアプローチ

座長：小林 洋一（昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門）

吉村 道博（東京慈恵会医科大学循環器内科）

パネリスト：横山 賢一（東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科）

鳴井 亮介（東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科）

渡辺 則和（昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門）

箕浦 慶乃（昭和大学循環器内科）

8) 成人先天性心疾患へのアプローチ

座長：丹羽公一郎（聖路加国際病院）

小川 俊一（日本医科大学付属病院小児科）

パネリスト：立野 滋（千葉県循環器病センター成人先天性心疾患診療部）

森本 康子（聖路加国際病院循環器内科）

渡邊 誠（日本医科大学付属病院小児科）

松尾 浩三（千葉県循環器病センター心臓血管外科・成人先天性心疾患診療部）

(5) 理想的な医療現場とは?—各界からの提言—

座長: 永井 良三 (自治医科大学)

上田真喜子 (大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学)

演者: 村木 厚子 (厚生労働省社会・援護局)

佐々木常夫 (株式会社東レ経営研究所特別顧問)

山崎 直子 (元宇宙飛行士)

8. プレナリーセッション

(1) Beyond LDL: 残存リスクを考える (日本語)

Beyond LDL: How to manage residual risks?

座長: 山岸 正和 (金沢大学臓器機能制御学・循環器内科)

代田 浩之 (順天堂大学循環器内科学)

(2) 心房細動治療の最前線 (英語)

Frontier of the treatment of atrial fibrillation

座長: 奥村 謙 (弘前大学循環呼吸腎臓内科学)

Douglas P. Zipes (Indiana University, USA)

海外演者: Douglas P. Zipes (Indiana University, USA)

Karl-Heinz Kuck (Asklepios Klinik St. Georg, Germany)

(3) 急性心不全の予後改善に向けて—アジアおよび欧米疫学の研究から見えてくるもの— (英語)

To Improve Outcomes of Acute Heart Failure Patients: Lessons from Asian and Western Registries

座長: 佐藤 直樹 (日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科)

Mihai Gheorghiade (Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA)

海外演者: Mihai Gheorghiade (Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA)

Cheuk-Man Yu (Prince of Wales Hospital, The Chinese University of Hong Kong)

Kyu-Hyung Ryu (Hallym University Medical Center)

(4) 治療抵抗性高血圧を克服する (日本語)

Breakthrough to Overcome Treatment-Resistant Hypertension

座長: 木村玄次郎 (名古屋市立大学心臓・高血圧内科学(第三内科))

長谷部直幸 (旭川医科大学循環・呼吸・神経病態内科学)

(5) 心臓再生の新展開 (英語)

New advance in cardiac regenerative medicine—basic research and clinical trial—

座長: 松原 弘明 (京都府立医科大学循環器内科学)

Benoit G. Bruneau (Gladstone Institute of Cardiovascular Disease, USA)

海外演者: Benoit G. Bruneau (Gladstone Institute of Cardiovascular Disease, USA)

(6) 心臓と他臓器のコミュニケーションを探る—臓器連関から考える新しい循環器病治療戦略— (日本語)

Research on the communication of the heart and other organs—New approaches to treatment of cardiovascular diseases from the view point of inter-organ communication—

座長: 筒井 裕之 (北海道大学循環病態内科学)

吉村 道博 (東京慈恵会医科大学循環器内科)

(7) 成人期の川崎病の実態と管理 (日本語)

Clinical Manifestations and management of Kawasaki Disease in Adults

座長: 濱岡 建城 (京都府立医科大学小児循環器・腎臓病学)

上野 高史 (久留米大学循環器病センター)

9. シンポジウム

(1) 重症冠動脈疾患患者の冠動脈血行再建: PCI と CABG の進歩 (日本語)

Progress in coronary revascularization: CABG and PCI for severe coronary artery disease

座長: 一色 高明 (帝京大学循環器内科)

坂田 隆造 (京都大学心臓血管外科)

- (2) プラーク不安定化の分子機序 (英語)
Molecular mechanism of plaque destabilization
座長：佐田 政隆 (徳島大学循環器内科)
吉田 雅幸 (東京医科歯科大学先進倫理医学開発学分野)
海外演者：Renu Virmani (CV Path Institute, Inc., USA)
- (3) アジアにおける遺伝性不整脈症候群—人種の特性に迫る— (英語)
Genetic background of inherited arrhythmias in Asia
座長：堀江 稔 (滋賀医科大学循環器・呼吸器)
Charles Antzelevitch (Masonic Medical Research Laboratory, USA)
海外演者：Charles Antzelevitch (Masonic Medical Research Laboratory, USA)
Pascale Guicheney (Faculté de médecine Pierre et Marie Curie, France)
- (4) 低心機能例における突然死回避のための集学的治療戦略 (日本語)
Multi-disciplinary approach to sudden cardiac death in patients with impaired left ventricular function
座長：青沼 和隆 (筑波大学循環器内科学)
杉 薫 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)
- (5) 新たに見えてきた慢性心不全治療の標的 (英語)
Novel treatment targets of heart failure
座長：小室 一成 (大阪大学循環器内科学)
Jeffery D. Molkenin (Cincinnati Children's Hospital, University of Cincinnati, USA)
海外演者：Jeffery D. Molkenin (Cincinnati Children's Hospital, University of Cincinnati, USA)
Leslie A. Leinwand (University of Colorado, USA)
- (6) 新しい高血圧治療ガイドライン JSH2014 はいかに進化すべきか (日本語)
How Should the New Guidelines for Management of Hypertension (JSH201X) Evolve?
座長：島本 和明 (札幌医科大学)
檜垣 實男 (愛媛大学大学院病態情報内科学)
- (7) 心血管系再生医療の最前線—臨床研究に学ぶ— (日本語)
Advances in the cardiovascular regenerative medicine—Lesson from the clinical studies—
座長：宮本 正章 (日本医科大学循環器内科)
福田 昇 (日本大学大学院総合科学研究科)
- (8) 循環器画像診断は臨床にいかに関与しているか (日本語)
Role of Cardiac Imagings in the Diagnosis and Treatment of Heart Disease
座長：尾崎 行男 (藤田保健衛生大学循環器内科)
望月 輝一 (愛媛大学放射線科)
海外演者：Jagat Narula (Mount Sinai School of Medicine, USA)
- (9) 観血的画像診断の Up Date (日本語)
Update on invasive imaging modality
座長：安武 正弘 (日本医科大学循環器内科)
濱崎 秀一 (鹿児島大学循環器・呼吸器・代謝内科学)
- (10) 心血管疾患予防のための新しいバイオマーカー (英語)
New Biomarkers for Cardiovascular Disease Prevention
座長：磯 博康 (大阪大学公衆衛生学)
Aaron R. Folsom (University of Minnesota, USA)
海外演者：Aaron R. Folsom (University of Minnesota, USA)
- (11) 循環器分野の医療経済評価と政策課題 (日本語)
Socioeconomic and health policy issues in cardiology
座長：永井 良三 (自治医科大学)
田倉 智之 (大阪大学医療経済産業政策学)
- (12) 新たな抗血栓療法のエビデンス (日本語)
New EBM of antithrombotic therapies
座長：島田 和幸 (小山市民病院)
小川 久雄 (熊本大学循環器病態学)

- (13) Structural Heart Disease のカテーテルインターベンションの進歩 (日本語)
Current development of catheter intervention in patients with structural heart disease
座長：中西 敏雄 (東京女子医科大学循環器小児科)
高山 守正 (榊原記念病院循環器内科)
- (14) 成人先天性心疾患の診療体制の確立 (日本語)
Establishment of Caring Facilities in Adults with Congenital Heart Disease
座長：八尾 厚史 (東京大学循環器内科)
丹羽公一郎 (聖路加国際病院心血管センター循環器内科)
海外演者：Gary D. Webb (Cincinnati Children's Hospital Medical Center, USA)
- (15) 離職リスクを避けるための課題と解決法 (日本語)
Problems and solutions for female cardiologists to continue their career without quitting
座長：平田 健一 (神戸大学循環器内科)
本江 純子 (府中恵仁会病院心臓血管病センター)
- (16) 弁膜症治療のニューパラダイム—内科と外科の協調— (日本語)
New paradigm in the treatment of valvular heart disease : partnership between cardiologist and cardiac surgeon
座長：赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学循環器内科)
澤 芳樹 (大阪大学心臓血管外科)
海外演者：Martyn Thomas (Guy's and St Thomas' Hospital, UK)
- (17) 肺高血圧症—From Bench to Bed— (英語)
Recent Progress in Pulmonary Hypertension—from bench to bed—
座長：瀧原 圭子 (大阪大学保健センター)
Norbert F. Voelkel (Virginia Commonwealth University, USA)
海外演者：Norbert F. Voelkel (Virginia Commonwealth University, USA)
- (18) 重症下肢虚血に対する治療戦略 (日本語)
Current Status of the Therapeutic Strategy for the Peripheral Arterial Patients with Critical limb Ischemia
座長：古森 公浩 (名古屋大学血管外科)
横井 宏佳 (小倉記念病院循環器科)
- (19) 新しい抗糖尿病薬は循環器疾患予防に貢献できるか？ (英語)
The potential cardiovascular effects of new anti-diabetic drugs
座長：斎藤 能彦 (奈良県立医科大学第一内科)
Daniel J. Drucker (Samuel Lunenfeld Research Institute Mt. Sinai Hospital, Canada)
海外演者：Daniel J. Drucker (Samuel Lunenfeld Research Institute Mt. Sinai Hospital, Canada)
Berthold Hocker (Universität Potsdam Institut für Ernährungswissenschaften, Germany)
- (20) 大動脈疾患の治療ストラテジーを考える—ステントか外科治療か— (日本語)
Strategies for treatment of the aortic disease—Stent grafting or Surgery—
座長：高本 眞一 (三井記念病院)
倉谷 徹 (大阪大学低侵襲循環器医学)
- (21) 心室細動に対する心脳蘇生と救急心血管治療 (日本語)
Cardio-cerebral resuscitation & emergency cardiovascular care for ventricular fibrillation
座長：野々木 宏 (静岡県立総合病院)
長尾 建 (駿河台日本大学病院循環器科, 蘇生・救急心血管治療)
海外演者：Ben Bobrow (Arizona Department of Health Services, USA)
- (22) 禁煙を科学する (日本語)
Anti-smoking in Science
座長：室原 豊明 (名古屋大学循環器内科学)
朔 啓二郎 (福岡大学心臓・血管内科学)
- (23) 大災害と心血管病 (日本語)
Disasters and Cardiovascular Diseases
座長：下川 宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野)
竹石 恭知 (福島県立医科大学循環器・血液内科)

10. ジョイントシンポジウム

(1) AHA-JCS Joint Symposium

Heart failure with Update 2013

座長：筒井 裕之（北海道大学循環器病態内科）

Donna Arnett（University of Alabama-Birmingham）

演者：眞茅みゆき（北里大学大学院看護学研究科健康看護学専門分野）

Donna Arnett（University of Alabama-Birmingham）

Mariell Jessup（University of Pennsylvania School of Medicine）

山本 一博（鳥取大学病態情報内科学分野）

Robert Harrington（Department of Medicine, Stanford University）

(2) ACC-JCS Joint Symposium

Cardiac rehabilitation as cardiovascular therapy

座長：後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

Mary Norine Walsh（St. Vincent Heart Center of Indiana）

演者：島田 和典（順天堂大学循環器内科学講座）

曾我 芳光（小倉記念病院循環器内科）

Mary Norine Walsh（St. Vincent Heart Center of Indiana）

後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

Noel Bairey Merz（Cedars-Sinai Medical Center）

(3) ESC-JCS Joint Symposium

Recent Progress in the Understanding, Management and Prevention of Sudden Cardiac Death

座長：下川 宏明（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野）

Panos Vardas（Head Department of Cardiology, Heraklion University Hospital, Greece）

演者：Panos Vardas（Head Department of Cardiology, Heraklion University Hospital, Greece）

Rudolph W. Koster（Academic Medical Center, University of Amsterdam, Amsterdam, The Netherlands）

石見 拓（京都大学健康科学）

安田 聡（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

(4) KSC-JCS Joint Symposium

Diabetic Coronary Artery Disease in Asia

座長：佐田 政隆（徳島大学循環器内科）

Seung-Jung Park（University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center）

演者：Seung-Jung Park（University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center）

白木 綾（佐賀大学循環器内科）

Soo Lim（Seoul National University）

島袋 充生（徳島大学大学院心臓血管病態医学講座）

11. ラウンドテーブルディスカッション

(1) 器質的心疾患における心室性不整脈のカテーテルアブレーション

座長：青沼 和隆（筑波大学医学医療系循環器内科）

小林 義典（東海大学医学部付属八王子病院循環器内科）

演者：吉田健太郎（茨城県立中央病院循環器内科）

林 明聡（日本医科大学循環器内科）

中原 志朗（独協医科大学越谷病院循環器内科）

埴田 浩（福井大学循環器内科）

古嶋 博司（新潟大学医歯学総合研究科循環器内科）

(2) Long-term outcome after the Maze procedure

座長：James L. Cox（Emeritus Everts A. Graham Professor of Surgery at Washington University）

新田 隆（日本医科大学心臓血管外科）

演者：James L. Cox (Emeritus Everts A. Graham Professor of Surgery at Washington University)

藤田 知之 (国立循環器病研究センター心臓血管外科)

末田泰二郎 (広島大学大学院医師薬保健学研究院外科学)

磯部 文隆 (愛知医科大学心臓外科)

石井 庸介 (日本医科大学千葉北総病院心臓血管外科)

(3) 循環器救急・集中治療の現状と新たな期待：今後のCCUはどうあるべきか？

座長：田中 啓治 (日本医科大学付属病院集中治療室)

横山 広行 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

演者：横山 広行 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

田原 良雄 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科)

西上 和宏 (済生会熊本病院集中治療室)

長谷 守 (札幌医科大学救急・集中治療医学講座)

宮地 秀樹 (日本医科大学付属病院集中治療室)

George W. Vetrovec (Virginia Commonwealth University, VCU Pauley Heart Center)

(4) 大動脈解離はなぜ起こる？

座長：加地修一郎 (神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科)

荻野 均 (東京医科大学病院心臓血管外科)

演者：中島 豊 (福岡赤十字病院病理診断科)

村井 達哉 (榊原記念病院病理部)

西上 和宏 (済生会熊本病院集中治療室)

稲見 徹 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科)

坪 宏一 (日本医科大学付属病院集中治療室)

(5) 難治性冠攣縮へのアプローチ

座長：小川 久雄 (熊本大学大学院循環器内科学)

下川 宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

演者：高木 祐介 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

末田 章三 (愛媛県立新居浜病院循環器科)

海北 幸一 (熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学)

吉野 秀朗 (杏林大学医学部第二内科)

村上 大介 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科)

(6) 包括的心疾患治療としての心臓リハビリテーションの新展開

座長：野原 隆司 (北野病院心臓センター)

折口 秀樹 (九州厚生年金病院循環器科)

演者：福岡 長知 (日本医科大学内科学第一)

木庭 新治 (昭和大学循環器内科)

安村 良男 (国立大阪医療センター循環器内科)

高永 康弘 (九州厚生年金病院リハビリテーション室)

勝木 達夫 (やわたメディカルセンター循環器内科)

上月 正博 (東北大学機能医科学講座内部障害学分野)

(7) 心疾患増悪因子としての高血圧関連病態を考える

座長：榎本 宏実 (大阪大学大学院老年・腎臓内科学)

今泉 勉 (久留米大学循環器病研究所内科部門)

演者：佐田 政隆 (徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部循環器内科学)

塩島 一郎 (関西医科大学第2内科)

甲斐 久史 (久留米大学心臓血管内科)

大石 充 (大阪大学老年・腎臓内科学)

菊尾 七臣 (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門)

(8) 3D心エコーの進歩

座長：竹中 克 (東京大学医学部附属病院検査部)

岩永 史郎 (東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

演者：竹内 正明（産業医科大学医学部第2内科学）
 瀧間 浄宏（長野県立こども病院循環器科）
 浅沼 俊彦（大阪大学大学院医学系研究科先進心血管治療学寄付講座循環器内科）
 瀬尾 由広（筑波大学医学医療系循環器内科）
 古堅あずさ（東京女子医科大学循環器内科）

(9) 2型DMによる大血管障害と早期介入法

座長：綿田 裕孝（順天堂大学医学部代謝内分泌学）
 植木浩二郎（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科）
 演者：曾根 博仁（新潟大学大学院医歯学総合研究科血液・内分泌・代謝内科学講座）
 伊藤 浩（岡山大学循環器内科）
 西尾 善彦（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科糖尿病・内分泌内科学）
 宮内 克己（順天堂大学循環器内科）
 杉山 正悟（熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学分野）

(10) 循環器疾患に合併する睡眠時呼吸障害の機序と治療—新たな概念・新たな介入法—

座長：百村 伸一（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科）
 安藤 真一（九州大学病院睡眠時無呼吸センター）
 演者：岩崎 雄樹（日本医科大学循環器内科）
 田村 彰（大分大学総合内科学第二講座）
 西坂 麻里（九州大学循環器内科）
 義久 精臣（福島県立医科大学循環器・血液内科学講座心臓病先進治療学講座）
 葛西 隆敏（順天堂大学循環器内科・循環呼吸睡眠医学講座）

(11) 性差医学を循環器診療にどうかすか

座長：中川 幹子（大分大学医学部臨床検査診断学）
 鄭 忠和（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科循環器・呼吸器・代謝内科学・腫瘍病態学）
 演者：古川 哲史（東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学）
 秋下 雅弘（東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座）
 河野 宏明（熊本大学医学部附属病院）
 眞茅みゆき（北里大学大学院看護学研究科健康看護学専門分野）

(12) 学校心臓検診は潜在的な心疾患の診断に有用か

座長：小川 俊一（日本医科大学小児科）
 市田 露子（富山大学医学部小児科）
 演者：高橋 良明（たかはし小児科循環器科医院）
 田内 宣生（大垣市民病院小児循環器新生児科）
 泉田 直己（曙町クリニック）
 吉永 正夫（国立病院機構鹿児島医療センター小児科）
 林 研至（金沢大学医薬保険研究域医学系・臓器機能制御学循環器内科）

12. トピックス

(1) Calcium handling and cardiac arrhythmia

座長：Peng-Sheng Chen（Krannert Institute of Cardiology, Indiana University School of Medicine）
 小野 克重（大分大学医学部病態生理学）
 演者：Peng-Sheng Chen（Krannert Institute of Cardiology, Indiana University School of Medicine）
 辻 幸臣（Department of Pharmacology, University Hospital of Essen）
 三浦 昌人（東北大学大学院医学系研究科保険学専攻臨床生理検査学分野）
 田中 秀央（京都府立医科大学大学院医学研究科細胞分子機能病理学）
 丸山 光紀（日本医科大学千葉北総病院循環器内科）

(2) 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション

座長：中川 博（Heart Rhythm Institute University of Oklahoma Health Science Center）
 山根 禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）

演者：Shih-Ann Chen (Department & Institute of Physiology, National Yang-Ming University)

山城 荒平 (豊橋ハートセンター循環器内科)

五十嵐 都 (筑波大学医学医療系循環器内科)

蜂谷 仁 (土浦協同病院循環器内科不整脈部門)

松尾征一郎 (東京慈恵会医科大学循環器内科)

(3) Recent topics on pathophysiology of atrial fibrillation

座長：Stanley Nattel (Montreal Heart Institute Research Center, University of Montreal)

山下 武志 (心臓血管研究所)

演者：Stanley Nattel (Montreal Heart Institute Research Center, University of Montreal)

五十嵐友紀 (九州労災病院門司メディカルセンター循環器内科)

岩崎 雄樹 (日本医科大学第一内科)

中川 博 (Heart Rhythm Institute University of Oklahoma Health Science Center)

井上 耕一 (桜橋渡辺病院心臓・血管センター)

(4) 重症心室性不整脈の緊急治療

座長：平尾 見三 (東京医科歯科大学医学部附属病院不整脈センター)

三田村秀雄 (東京都済生会中央病院心臓病臨床研究センター)

演者：志賀 剛 (東京女子医科大学循環器内科)

木村 正臣 (弘前大学医学研究科循環呼吸腎臓内科学)

栗田 隆志 (近畿大学医学部附属病院心臓血管センター)

里見 和浩 (国立循環器病研究センター不整脈科)

(5) さまざまな心電情報を日常生活に活かす

座長：加藤 貴雄 (日本医科大学名誉教授)

樗木 晶子 (九州大学大学院医学研究院保健学部門)

演者：大坂 元久 (日本獣医生命科学大学獣医保健看護学基礎部門)

石島 正之 (東京都市大学一旧武蔵工業大学名誉教授)

原 正壽 (聖マリアンナ医科大学病院循環器内科)

笠巻 祐二 (日本大学医学部内科学系総合内科学分野)

加藤 貴雄 (日本医科大学名誉教授)

(6) Bioresorbable vascular scaffold technology: its current status and future prospects

座長：斉藤 滋 (湘南鎌倉病院循環器科)

森野 禎浩 (岩手医科大学内科学講座循環器内科分野)

演者：田邊 健吾 (三井記念病院循環器内科)

Stephen Wai Luen Lee (Division of Cardiology, Department of Medicine, The University of Hong Kong, Queen Mary Hospital)

Juan F Granada (The Cardiovascular Research Foundation)

(7) 本邦から発信する PCI の新たなエビデンス

座長：木村 剛 (京都大学医学部附属病院循環器内科)

中村 正人 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

演者：飯田 修 (関西ろうさい病院循環器内科)

横井 宏佳 (小倉記念病院循環器内科)

上妻 謙 (帝京大学医学部附属病院循環器内科)

夏秋 政浩 (京都大学循環器内科)

塩見 紘樹 (京都大学循環器内科)

(8) 冠動脈疾患治療：バイオマーカーと先端画像で迫る

座長：清野 精彦 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科)

安齊 俊久 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演者：佐藤 明 (筑波大学循環器内科)

大倉 宏之 (川崎医科大学循環器内科)

角田 恒和 (土浦協同病院循環器内科)

山本 真功 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科)

- (9) Prevention of cardiac remodeling in heart failure: present status and future perspectives
 座長: Faiez Zannad (University of Nancy, Inserm Hospital Central, France)
 小室 一成 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)
 演者: Faiez Zannad (University of Nancy, Inserm Hospital Central, France)
 砂川 賢二 (九州大学大学院医学研究院循環器内科学)
 南野 哲男 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科)
 高野 博之 (千葉大学分子心血管薬理学)
- (10) 交感神経と脳心腎連関 ―腎交感神経アブレーションから見えてきたこと―
 座長: 砂川 賢二 (九州大学大学院医学研究院循環器内科学)
 麻野井英次 (富山県射水市民病院)
 演者: Sharad V. Shetty (Department of Cardiology, Royal Perth Hospital)
 熊谷 裕生 (防衛医科大学校)
 岸 拓弥 (九州大学大学院医学研究院先端心血管治療学講座)
 川田 徹 (国立循環器病研究センター研究所循環動態機能部)
 城宝 秀司 (富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二)
- (11) 非侵襲的検査による Coronary Plaque imaging update
 座長: 栗林 幸夫 (慶應義塾大学医学部放射線診断科)
 山科 章 (東京医科大学第二内科)
 演者: 元山 貞子 (藤田保健衛生大学循環器内科)
 川崎 友裕 (新古賀病院心臓血管センター)
 汲田伸一郎 (日本医科大学放射線医学)
- (12) Role of Cardiac Images in Transcatheter Therapy for Valvular Disease
 座長: 塩田 隆弘 (Ceders-Sinai Heart Institute, University of California Los Angeles)
 高山 守正 (榊原記念病院循環器内科)
 演者: 塩田 隆弘 (Ceders-Sinai Heart Institute, University of California Los Angeles)
 Alfredo Trento (Ceders-Sinai Heart Institute, University of California Los Angeles)
 Rajendra Makkar (Ceders-Sinai Heart Institute, University of California Los Angeles)
 渡辺 弘之 (東京ベイ浦安市川医療センターハートセンター)
 Saibal Kar (Ceders-Sinai Heart Institute, University of California Los Angeles)
- (13) 未来へ向けて心エコー図法の進化
 座長: 吉田 清 (川崎医科大学循環器内科)
 尾辻 豊 (産業医科大学第2内科学)
 演者: Thor Edvardsen (Dept. of Cardiology, Oslo University Hospital)
 竹内 正明 (産業医科大学第2内科)
 林田 晃寛 (川崎医科大学循環器内科)
 瀬尾 由広 (筑波大学循環器内科)
- (14) スtent留置後の血管治癒反応を診る
 座長: 南都 伸介 (大阪大学先進心血管治療学)
 井上 勝美 (小倉記念病院検査部)
 演者: 植田 初江 (国立循環器病研究センター臨床病理科)
 今井 逸雄 (京都大学医学部附属病院循環器内科)
 栗田 政樹 (関西ろうさい病院循環器内科)
 藤井 健一 (兵庫医科大学循環器内科)
- (15) Cardiac protection in Metabolic syndrome
 座長: 三浦 哲嗣 (札幌医科大学医学部内科学第二講座)
 Roberta Gottlieb (Donald P. Shiley BioScience Center, San Diego State University)
 演者: Roberta Gottlieb (Donald P. Shiley BioScience Center, San Diego State University)
 Gary Lopaschuk (Faculty of Medicine & Dentistry Department of Pediatrics,
 Department of Pharmacology, University of Alberta)
 Robert Mentzer (University Health Center, Wayne State University School of Medicine)
 新村 健 (慶應義塾大学医学部老年内科)

(16) 循環器再生医療の Needs と Seeds とは？

- 座長：田畑 泰彦（京都大学再生医科学研究所生体組織工学研究所部門生体材料学分野）
 福田 恵一（慶應義塾大学医学部循環器内科）
 演者：出澤 真理（東北大学大学院医学系研究科細胞組織学分野）
 新岡 俊治（Pediatric Cardiovascular Surgery, Yale University School of Medicine）
 浅原 孝之（東海大学医学部再生医療科学教室）
 遠山 周吾（慶應義塾大学循環器内科）
 丸井 晃（京都大学医学部附属病院心臓血管外科）

(17) ハートチームによる心血管治療の向上

- 座長：高山 守正（榊原記念病院循環器内科）
 夜久 均（京都府立医科大学大学院医学研究科心臓血管外科）
 演者：高山 守正（榊原記念病院循環器内科）
 倉谷 徹（大阪大学大学院医学系研究科低侵襲循環器医療学講座）
 岩淵 成志（小倉記念病院循環器内科）
 岡田 隆（京都市立病院循環器内科）
 塩田 隆弘（Dept of Cardiology, Echo Labo, Cedars Sinai Medical Center）

(18) 新しい時代を迎えた心原性脳塞栓の予防と治療（心と脳からなる新たな展開）

- 座長：早川 弘一（四谷メディカルキューブ）
 片山 泰朗（日本医科大学付属病院神経内科分野）
 演者：峰松 一夫（国立循環器病研究センター）
 奥村 謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
 大久保誠二（日本医科大学付属病院神経内科）
 丸山 征郎（鹿児島大学医学部システム血栓制御学）

13. コントロバーシー

(1) デバイス治療に関するコントロバーシー

- 座長：松本 万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）
 中里 裕二（順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科）
 演者：副島 京子（杏林大学第二内科学循環器内科）
 中井 俊子（日本大学医学部附内科学系循環器内科）
 西崎 光弘（横浜南共済病院循環器内科）
 八木 哲夫（仙台市立病院循環器内科）

(2) 下大静脈フィルターは原則使用すべきか

- 座長：丹羽 明博（平塚共済病院）
 孟 真（横浜南共済病院心臓血管外科）
 演者：中村 真潮（三重大学大学院医学系研究科臨床心血管病解析学）
 田邊 信宏（千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学）
 猿渡 力（済生会横浜市南部病院循環器内科）
 近藤 克洋（小倉記念病院循環器科）

(3) CABG vs. PCI 競争と協調

- 座長：天野 篤（順天堂大学心臓血管外科）
 宮崎 俊一（近畿大学医学部循環器内科）
 演者：道井 洋吏（医療法人札幌ハートセンター札幌心臓血管クリニック心臓血管外科）
 藤田 勉（札幌心臓血管クリニック循環器科）
 田邊 大明（心臓血管研究所附属病院心臓血管外科）
 矢嶋 純二（心臓血管研究所附属病院）
 羽生 道弥（小倉記念病院心臓血管外科）
 岩淵 成志（小倉記念病院心臓病センター）

(4) 急性心不全：強心薬は善か悪か？

- 座長：安村 良男（国立病院機構大阪医療センター循環器内科）
 浅井 邦也（日本医科大学付属病院循環器内科）

演者：坂田 泰史（大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学）
 佐藤 幸人（兵庫県立尼崎病院循環器内科）
 横山 広行（国立循環器病研究センター心臓血管内科部門）

14. ミート・ザ・エキスパート

(1) 非侵襲的検査による心臓突然死予測

座長：新 博次（日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科）
 池田 隆徳（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）
 演者：池田 隆徳（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）
 吉岡公一郎（東海大学医学部内科学系循環器内科）
 西崎 光弘（横浜南共済病院循環器内科）
 清水 渉（国立循環器病研究センター心臓血管内科部門）

(2) アブレーションにおける合併症を予防するために

座長：野上 昭彦（横浜労災病院）
 宮内 靖史（日本医科大学第一内科）
 演者：高橋 淳（横須賀共済病院循環器センター）
 山根 禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）
 合屋 雅彦（小倉記念病院循環器内科）
 松井由美江（大阪府済生会泉尾病院循環器科）

(3) Inflammation, atherosclerosis and coronary artery disease

座長：中村 治雄（財団法人三越厚生事業団）
 James Shepherd（Emeritus Professor of Vascular Medicine, Institute of Biochemistry, Royal Infirmary）
 演者：Carolyn L. Geczy（Dept of Pathology, Faculty of Medicine, The University of New South Wales）
 倉林 正彦（群馬大学大学院医学系研究科臓器病態内科学）
 Paul M. Ridker（Center for Cardiovascular Disease Prevention Brigham and Women's Hospital, Eugene Braunwald Professor of Medicine, Harvard Medical School）
 James Shepherd（Emeritus Professor of Vascular Medicine, Institute of Biochemistry, Royal Infirmary）

(4) 弁膜症治療の最近の動向と治療指針

座長：大北 裕（神戸大学大学院医学研究科外科学講座心臓血管外科学研究分野）
 中谷 敏（大阪大学医学部保健学科）
 演者：大門 雅夫（順天堂大学医学部循環器内科学）
 澤 芳樹（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学）
 橋本 和弘（東京慈恵会医科大学心臓血管外科）
 泉 知里（天理よろづ相談所病院循環器内科）

(5) Hypertrophic Cardiomyopathy : an update

座長：土居 義典（高知大学医学部老年病・循環器・神経内科学）
 Hubert Seggewiss（Leopoldina-Krankenhaus der Stadt Schweinfurt）
 演者：Hubert Seggewiss（Leopoldina-Krankenhaus der Stadt Schweinfurt）
 久保 亨（高知大学医学部老年病科・循環器科）
 濱田 希臣（市立宇和島市立病院）
 宮内 靖史（日本医科大学内科学循環器内科）
 高山 守正（榊原記念病院循環器内科）

(6) 急性心不全薬物療法の展望

座長：北風 政史（国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科）
 山本 一博（鳥取大学医学部病態情報内科）
 演者：John R. Teerlink（University of California）
 佐藤 直樹（日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科）
 百村 伸一（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科）

(7) 加齢と循環器疾患：分子メカニズムから臨床へ

座長：佐渡島純一（University of Medicine & Dentistry of New Jersey, USA）
 筒井 裕之（北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学）

- 演者：佐渡島純一 (University of Medicine & Dentistry of New Jersey, USA)
 南野 徹 (新潟大学循環器学分野)
 新村 健 (慶應義塾大学医学部内科(老年))
- (8) 不全心筋：病態解明への挑戦(心筋生検研究会ジョイントセッション)
 座長：竹村 元三 (岐阜大学医学系研究科・医学部循環器内科)
 高野 博之 (千葉大学分子心血管薬理学)
 演者：池田 善彦 (国立循環器病研究センター臨床病理科)
 齋藤 恒徳 (北村山公立病院医局日本医科大学循環器内科)
 山口 修 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)
 金森 寛充 (岐阜大学大学院医学系研究科病態情報解析医学)
 佐野 元昭 (慶應義塾大学病院循環器内科)
 真鍋 一郎 (東京大学大学院医学系研究科循環器内科)
- (9) 心肺運動負荷試験から見た心疾患
 座長：伊東 春樹 (榊原記念病院・榊原記念クリニック)
 安達 仁 (群馬県立心臓血管センター循環器内科)
 演者：小池 朗 (心臓血管研究所循環器科)
 安達 仁 (群馬県立心臓血管センター循環器内科)
 伊東 春樹 (榊原記念病院・榊原記念クリニック)
- (10) ゲノム研究最前線：循環器領域でのオーダーメイド医療は可能か？
 座長：田中 敏博 (理化学研究所ゲノム医科学研究センター)
 清水 渉 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)
 演者：尾崎 浩一 (理化学研究所ゲノム医科学研究センター疾患関連遺伝子研究グループ循環器疾患研究チーム)
 清水 渉 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)
 中谷 中 (三重大学医学部附属病院オーダーメイド医療部)
- (11) 関連学会のガイドラインに学ぶⅠ(消化器内視鏡学会, 腎臓病学会, 糖尿病学会)
 座長：伊藤 宏 (秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学・呼吸器内科学)
 演者：藤本 一真 (佐賀大学医学部内科学)
 安田 宜成 (名古屋大学医学部CKD 地域連携システム講座・病態内科学講座・腎臓内科学)
 荒木 栄一 (熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学分野)
- (12) 関連学会のガイドラインに学ぶⅡ(透析学会, 動脈硬化学会, 老年病学会)
 座長：湊口 信也 (岐阜大学循環器内科)
 演者：新田 孝作 (東京女子医科大学第4内科)
 寺本 民生 (帝京大学医学部内科)
 森本 茂人 (金沢医科大学高齢医学)
- (13) The new oral anticoagulants in atrial fibrillation: Meet the trialists(仮)
 座長：丸山 征郎 (鹿児島大学)
 後藤 信哉 (東海大学)
 演者：Stuart J. Connolly (McMaster University)
 堀 正二 (大阪府立成人病センター)

15. モーニングレクチャー

- (1) 失神の診断と鑑別
 座長：小林 洋一 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)
 演者：安部 治彦 (産業医科大学不整脈先端治療学)
- (2) アブレーションに役立つ心臓の解剖学
 座長：副島 京子 (杏林大学医学部循環器内科)
 演者：井川 修 (日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科)
- (3) 薬剤性不整脈の診断と対処
 座長：堀江 稔 (滋賀医科大学内科学講座(循環器・呼吸器))
 演者：清水 渉 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)

- (4) 特発性心室細動の最新の知見
座長：西崎 光弘（横浜南共済病院循環器内科）
演者：草野 研吾（岡山大学循環器内科）
- (5) 心臓手術後に新たに出現する不整脈への対応 ―薬物および非薬物治療の実際―
座長：今井 克彦（広島大学病院心臓血管外科）
演者：宮内 靖史（日本医科大学付属病院循環器内科）
- (6) CRTD 植え込みの工夫
座長：石川 利之（横浜市立大学附属病院循環器内科）
演者：庄田 守男（東京女子医科大学循環器内科）
- (7) 日常臨床で大動脈解離を見落とさないための工夫
座長：西上 和宏（済生会熊本病院集中治療室）
演者：新沼 廣幸（聖路加国際病院循環器内科）
 塚 宏一（日本医科大学付属病院集中治療室）
- (8) PCI における冠血流予備量定量の意義
座長：勝木 孝明（自治医科大学医学部臨床医学部門内科学循環器内科学部門）
演者：田中 信大（東京医科大学循環器内科）
- (9) エキシマレーザー治療による冠動脈形成術(案)
座長：阿部 七郎（獨協医科大学病院心臓・血管内科）
演者：緒方 信彦（東海大学医学部内科学系循環器内科学）
- (10) 心疾患と呼吸管理
座長：竹田 晋浩（日本医科大学集中治療室）
演者：今中 秀光（徳島大学病院 ER・災害医療診療部）
- (11) Biomarker guided therapy : beyond BNP
座長：吉村 道博（東京慈恵会医科大学循環器内科）
演者：佐藤 幸人（県立尼崎病院循環器内科）
- (12) 植え込み型 VAS の進歩と本邦における役割
座長：山科 章（東京医科大学第二内科）
演者：許 俊鋭（東京大学大学院医学系研究科重症心不全治療開発講座）
- (13) 心サルコイドーシス Update
座長：廣江 道昭（国立国際医療研究センター腎臓循環器科）
演者：森本紳一郎（藤田保健衛生大学循環器内科）
- (14) 難治性心不全の薬物治療に関して
座長：木原 康樹（広島大学大学院医歯薬総合研究科循環器内科学）
演者：絹川弘一郎（東京大学医学部付属病院）
- (15) 心筋炎：拡張型心筋症とその関連
座長：吉川 勉（榊原記念病院循環器内科）
演者：猪又 孝元（北里大学医学部循環器内科学）
- (16) うつは心疾患に如何なる影響を及ぼすか ―心疾患軽症患者から終末期患者に合併するうつの病態と対策―
座長：伊藤 弘人（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会精神保健研究部）
演者：安井 博規（大阪大学循環器内科）
 西村 勝治（東京女子医科大学神経精神科）
- (17) 心臓リハビリによる慢性心不全患者の外来管理
座長：上月 正博（東北大学大学院医学系研究科機能医科学講座内部障害学分野）
演者：眞茅みゆき（北里大学看護学部）
 長山 雅俊（榊原記念病院循環器内科）
- (18) 重症心不全に対する心臓リハビリテーション
座長：後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
演者：牧田 茂（埼玉医科大学国際医療センター心臓リハビリテーション科）
 後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

- (19) 臨床における血管機能検査の重要性
座長：山科 章 (東京医科大学循環器内科)
演者：高橋 啓 (日本医科大学付属病院循環器内科)
東 幸仁 (広島大学原爆放射線医科学研究所)
- (20) 食塩と循環器疾患に関する最新の話
座長：河野 雄平 (国立循環器病研究センター高血圧・腎臓科)
演者：吉村 道博 (東京慈恵会医科大学循環器内科)
- (21) Speckle tracking strain と tissue Doppler strain の使い分け
座長：本間 博 (日本医科大学循環器内科)
演者：山田 聡 (北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学)
- (22) 右心機能評価から何が見えるか？
座長：草間 芳樹 (日本医科大学付属多摩永山病院循環器内科)
演者：村田 光繁 (慶應義塾大学医学部臨床検査医学)
- (23) CT-MRI による心筋 perfusion imaging
座長：林宏 光 (日本医科大学放射線医学)
演者：城戸 輝仁 (愛媛大学大学院生体画像応用医学分野)
- (24) 経食道心エコーによる成人先天性心疾患の評価
座長：赤木 禎治 (岡山大学病院循環器疾患集中治療)
演者：富松 宏文 (東京女子医科大学循環器小児科)
- (25) OCT ガイドの PCI
座長：稲見 茂信 (日本医科大学循環器内科)
演者：久保 隆史 (和歌山県立医科大学循環器内科)
- (26) 臨床と研究における冠動脈光干渉断層法(coronary-OCT)の活用法：
OCT 画像をどう解釈・解析するか？
座長：上村 史朗 (奈良県立医科大学第一内科学)
演者：米津 大志 (Massachusetts General Hospital Cardiovascular Research Center)
- (27) 循環器疾患リスク評価における「相対評価」と「絶対評価」を考える
座長：大塚 俊昭 (日本医科大学大学院医学研究科衛生学公衆衛生学分野)
演者：岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)
- (28) 若手循環器研究者育成セミナー 1 「アクセプトされる論文の条件」
座長：下川 宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野)
演者：北風 政史 (国立循環器病研究センター臨床研究部心臓血管内科)
- (29) 若手循環器研究者育成セミナー 2 「臨床研究をデザインする」
座長：畑典 武 (日本医科大学千葉北総病院集中治療室)
演者：山崎 力 (東京大学臨床研究支援センター)
- (30) がん化学療法の進歩と血管合併症分子標的治療時代の循環器マネジメントのありかた
座長：大江裕一郎 (国立がん研究センター東病院呼吸器内科)
演者：南 学 (京都大学医学部附属病院探索医療臨床部)
- (31) 女性の心疾患の徴候を見逃さないために
座長：松田 昌子 (山口大学大学院医学系研究科女性診療外来)
演者：嘉川亜希子 (鹿児島大学大学院医師学総合研究科循環器・呼吸器・代謝内科学)
- (32) 経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI)の現状と将来
座長：山岸 正和 (金沢大学臓器機能制御学・循環器内科)
演者：林田健太郎 (Institut Cardiovasculaire Paris Sud)
- (33) 慢性血栓性肺高血圧診療における up to date
座長：中村 真潮 (三重大学大学院医学系研究科臨床心血管病解析学)
演者：杉村宏一郎 (東北大学大学院循環器内科学)

16. Late Breaking Clinical Trials (公募)

17. Late Breaking Cohort Studies (公募)

18. 第41回循環器教育セッション

教育セッションⅠ

ビデオセッションⅠ-1 心臓CT/MRIの最新動向

座長：尾崎 行男（藤田保健衛生大学）

吉岡 邦浩（岩手医科大学）

ビデオセッションⅠ-2 閉塞性肥大型心筋症に対するPTSMA

座長：一色 高明（帝京大学循環器内科）

ビデオセッションⅠ-3 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用

座長：熊谷浩一郎（医療法人社団高邦会福岡山王病院ハートリズムセンター）

沖重 薫（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）

教育セッションⅡ

冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかにか活かすか？—

座長：落 雅美（日本医科大学心臓血管外科）

住吉 徹哉（榊原記念病院循環器内科）

演者：桑原 博道（仁邦法律事務所）

松本 晴樹（厚生労働省保険局医療課専門官）

夜久 均（京都府立医科大学心臓血管外科）

中川 義久（天理よろづ相談所病院循環器内科）

浅井 徹（滋賀医科大学心臓血管外科）

代田 浩之（順天堂大学循環器内科）

教育セッションⅢ

新しい抗凝固薬の臨床

座長：後藤 信哉（東海大学循環器内科）

山下 武志（心臓血管研究所付属病院）

演者：後藤 信哉（東海大学循環器内科）

草野 研吾（岡山大学循環器内科）

渡邊 英一（藤田保健衛生大学循環器内科）

高橋 尚彦（大分大学循環器内科）

庭野 慎一（北里大学循環器内科）

富田 愛子（東海大学循環器内科）

19. 日本心臓財団佐藤賞記念講演

（学会2日目 3月16日（土）15：20～18：00 第3会場 会議センター 301）

座長：水野 杏一（日本医科大学医学部長）

20. 審査講演会

（1）Young Investigator's Award 審査講演

（学会1日目 3月15日（金）8：30～10：30 第11会場 会議センター 413）

座長：永井 良三（自治医科大学）

（2）国際留学生 Young Investigator's Awards 審査講演

座長：室原 豊明（名古屋大学循環器内科学）

（3）コメディカル賞審査講演会

21. 委員会セッション

（1）国際交流委員会

第3回海外留学生セミナー

（学会2日目 3月16日（土）8：30～10：00 第22会場 アネックスホール F205）

座長：室原 豊明（名古屋大学循環器内科学）

1. 不全心筋リモデリング発症を規定する炎症反応・線維化反応前段階の解明・制御

演者：田中 孔明（新潟大学医学部第一内科）

2. アメリカ研究留学で学んだこと

松島 将士 (University of Medicine and Dentistry of New Jersey, Department of Cell Biology and Molecular Medicine)

3. ロンドン留学のすゝめ

高岡 稔 (King's College London Cardiovascular Division)

(2) 学術委員会

ガイドラインに学ぶ1

2011-2012年度活動新規ガイドライン作成班報告

(学会1日目 3月15日(金)11:10~12:40 第17会場 会議センター 502)

座長: 宮崎 俊一 (近畿大学医学部循環器内科)

1. 血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン

演者: 山科 章 (東京医科大学第二内科循環器内科)

2. 重症心不全に対する植込み型補助人工心臓治療ガイドライン

許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター心臓外科)

3. 慢性肺動脈血拴塞栓症に対する balloon pulmonary angioplasty の適応と実施法に関するワーキンググループ

伊藤 浩 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科機能制御学循環器内科)

ガイドラインに学ぶ2

2011年度活動ガイドライン改訂版作成班報告

(学会1日目 3月15日(金)13:50~15:20 第17会場 会議センター 502)

座長: 筒井 裕之 (北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学)

1. QT延長症候群(先天性・二次性)とBrugada症候群の診療に関するガイドライン (2012年改訂版)

演者: 青沼 和隆 (筑波大学医学医療系循環器内科)

2. 失神の診断・治療ガイドライン (2012年改訂版)

井上 博 (富山大学医学部第二内科)

3. 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン (2012年改訂版)

野原 隆司 ((公財)田附興風会医学研究所北野病院心臓センター)

ガイドラインに学ぶ3

2011年度活動ガイドライン改訂版作成班報告

(学会2日目 3月16日(土)8:30~10:00 第17会場 会議センター 502)

座長: 小川 久雄 (熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学)

1. 先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲的治療に関するガイドライン (2012年改訂版)

演者: 越後 茂之 (えちごクリニック)

2. 肥大型心筋症の診療に関するガイドライン (2012年改訂版)

土居 義典 (高知大学医学部老年病科循環器科)

3. 非ST上昇型急性冠症候群の診療に関するガイドライン (2012年改訂版)

木村 剛 (京都大学医学部附属病院循環器内科)

ガイドラインに学ぶ4

2011年度活動ガイドライン2回目改訂版作成班報告

(学会2日目 3月16日(土)11:10~12:40 第17会場 会議センター 502)

座長: 平山 篤志 (日本大学医学部内科学講座循環器内科部門)

1. 弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン (2012年改訂版)

演者: 大北 裕 (神戸大学大学院医学研究科心臓血管外科分野)

2. 虚血性心疾患の一次予防ガイドライン (2012年改訂版)

島本 和明 (札幌医科大学)

3. 肺高血圧症治療ガイドライン (2012年改訂版)

中西 宣文 (国立循環器病研究センター心臓内科)

ガイドライン解説 1

2010-2011年度活動新規ガイドライン作成班解説講演

(学会 3 日目 3 月17日(日) 8:30~10:00 第17会場 会議センター 502)

座長: 奥村 謙 (弘前大学大学院医学研究科循環呼吸腎臓内科学講座)

1. 総 論

演者: 相原 直彦 (千里中央病院内科)

2. 上室頻拍

平尾 見三 (東京医科歯科大学医学部附属病院不整脈センター)

3. 心房細動(病態生理とアブレーション法)

山根 禎一 (東京慈恵会医科大学循環器内科)

4. 心房細動(周術期管理と合併症)

高橋 淳 (横須賀共済病院循環器内科)

5. 心室頻拍

野上 昭彦 (横浜労災病院不整脈科)

6. 小 児

住友 直方 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

ガイドライン解説 2

2010-2011年度活動新規ガイドライン作成班解説講演

(学会 3 日目 3 月17日(日) 11:10~12:40 第17会場 会議センター 502)

1. はじめに—子ども達に使える薬を安全に使うために—

Right drug for right patients at right time

座長: 佐地 勉 (東邦大学医療センター大森病院小児科)

2. Overview, 降圧薬, 心筋症・心筋炎治療薬

演者: 中川 雅生 (滋賀医科大学小児科)

3. 抗不整脈薬, 高脂血症治療薬

住友 直方 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

4. 抗心不全薬, 末梢血管拡張薬, 利尿薬

村上 智明 (千葉県こども病院循環器科)

5. 川崎病後遺症治療薬, 抗血小板薬・抗凝固薬

深澤 隆治 (日本医科大学付属病院小児科)

(3) Translational Research 振興事業最終報告会

(学会 2 日目 3 月16日(土) 14:40~16:10 第23会場 アネックスホール F206)

座長: 小室 一成 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)

演者: 小室 一成 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)

室原 豊明 (名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学)

(4) 健保対策委員会

保険医療セミナー

(学会 1 日目 3 月15日(金) 16:30~18:00 第5会場 会議センター 303)

(5) 心臓移植委員会

第9回心臓移植セミナー

(学会 1 日目 3 月15日(金) 13:50~15:20 第5会場 会議センター 303)

座長: 磯部 光章 (東京医科歯科大学循環制御内科学)

佐野 俊二 (岡山大学心臓血管外科)

演者: 西垣 和彦 (岐阜大学医学部附属病院第二内科)

布田 伸一 (東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部)

小野 稔 (東京大学心臓外科)

芦刈淳太郎 (日本移植臓器ネットワーク医療本部長)

細谷 亮太 (聖路加国際病院小児科)

中西 敏雄 (東京女子医科大学循環器小児科)

(6) 医療倫理委員会

第12回医療安全・医療倫理に関する講演会

(学会3日目 3月17日(日)11:10~12:40 第2会場 会議センター メインホール)

座長: 奥村 謙 (弘前大学大学院医学研究科循環呼吸腎臓内科学講座)

近森大志郎 (東京医科大学第二内科)

演者: 中島 和江 (大阪大学医学部中央クオリティマネジメント部)

小松原明哲 (早稲田大学理工学術院人間生活工学研究室)

(7) 禁煙推進委員会

第12回禁煙推進セミナー

(学会2日目 3月16日(土)19:00~20:30 第19会場 会議センター 511+512)

座長: 飯田 真美 (岐阜県総合医療センター)

瀧原 圭子 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)

演者: 張 波 (福岡大学医学部生化学)

野田 博之 (厚生労働省健康局がん対策・健康増進課たばこ対策専門官)

大和 浩 (産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室)

山田 育弘 (名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長)

(8) 循環器救急医療委員会

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

(学会3日目 3月17日(日)11:10~12:40 第5会場 会議センター 303)

座長: 朔 啓二郎 (福岡大学医学部心臓・血管内科学講座)

長尾 建 (駿河台日本大学病院循環器科, 心肺蘇生・救急心血管治療)

演者: Ben Bobrow (Arizona Department of Health)

石見 拓 (京都大学健康科学センター)

米本 直裕 (国立精神・神経医療研究センター生物統計解析室)

蘇我 孟群 (駿河台日本大学病院救命救急センター)

長谷 守 (札幌医科大学救急医学講座)

梶野健太郎 (厚生労働省医政局指導課)

(9) 第11回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

(学会2日目 3月16日(土)14:00~17:30 ランドマークホール(ランドマークプラザ5階))

主 催: 禁煙推進委員会/循環器救急医療委員会

総合司会: 野々木 宏 (静岡県立総合病院循環器内科)

構 成: 木村 一雄 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)

心肺蘇生法公開講座

司会: 長尾 建 (駿河台日本大学病院循環器課)

田原 良雄 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)

1. 「心肺蘇生法公開講座開会の辞」(予定)

森村 尚登 (横浜市立大学医学部救急医学教室)(予定)

2. 「心肺蘇生法に関する講演(題名は未定)」演者未定

3. 「コールアンドプッシュ体操」

森山 咲子/すわん君 (スタジオ PARADISO)

4. 「簡易心肺蘇生法講習」

禁煙推進公開講座

司会: 檜垣 實男 (愛媛大学病態情報内科学)

海老名俊明 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)

演者: 藤原 久義 (兵庫県立尼崎病院 病院長)

瀧原 圭子 (大阪大学保健センター)

禁煙体操: 森山 咲子/すわん君 (スタジオ PARADISO)

特別講演

松沢 成文 (前神奈川県知事)・唐橋 ユミ (フリーアナウンサー)



(10) 男女共同参画委員会

第3回男女共同参画委員会セッション

(学会2日目 3月16日(土)11:10~12:40 第19会場 会議センター 511+512)

座長: 上田真喜子 (大阪市立大学病理病態学)

平田 恭信 (東京大学循環器内科)

演者: 上田真喜子 (大阪市立大学病理病態学)

土橋 和文 (札幌医科大学附属病院経営・管理学)

曾根 孝仁 (大垣市民病院循環器科)

平井 真理 (名古屋大学保健学科看護学)

日浅 芳一 (徳島赤十字病院循環器科)

冷牟田浩司 (九州医療センター循環器科)

(11) Circulation Journal Award Session

(学会2日目 3月16日(土)11:10~12:40 第22会場 アネックスホール F205)

座長: 下川 宏明 (東北大学循環器内科学)

22. 市民公開講座

日時: 3月17日(日)15:00~17:35

場所: パシフィコ横浜会議センター メインホール

テーマ: 知って得する生活習慣病対策のコツ

23. サテライトセミナー(ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー): 会期中3日間

24. 機器, 書籍展示

プレレジストレーションのお知らせ

第77回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。(国内参加者のみ)

第77回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/prereji/index.html>

教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

✦ 受付期間

参加登録

▶ 2012年 **11月1日** [木] ~ 2013年 **2月15日** [金] 17:00まで

教育セッション

▶ 2012年 **11月1日** [木] ~ 2013年 **2月28日** [木] 17:00まで

※参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。
参加が未定の場合は、2013年2月28日(木)までに追加でお申し込みください。

ランチョン・ ファイアサイドセミナー

▶ 2013年 **1月中旬** ~ 2013年 **2月28日** [木] 17:00まで

※学術集会参加登録後、上記期間内にてお申し込みいただけます。

✦ 参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物	配布物	備考
日本循環器学会会員 ※	15,000円	20,000円	—	プログラム 抄録集	抄録集は本会より事前 配布
非会員医師および 医療関係者	15,000円	20,000円	—	—	—
コメディカル	当日登録のみ	7,000円	所定の証明書	プログラム コメディカルセッション プログラム・抄録集	コメディカル以外の セッションも聴講可能
研修医(前期)		無料	所定の証明書	プログラム	—
学部学生		無料	学生証	プログラム	—
海外参加者 (日本からの留学生は除く)		5,000円	—	プログラム 抄録集	—
在日留学生		5,000円	所定の証明書	プログラム 抄録集	—

※参加区分「日本循環器学会会員」の参加費15,000円(当日20,000円)に消費税はかかりません。(不課税)

✦ コメディカル、研修医(前期)、留学生の登録

・プレレジストレーションは「日本循環器学会会員」、「非会員医師および医療関係者」のみを対象とさせていただきます。

コメディカル、研修医(前期)、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。

・コメディカル、研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提示が必要です。証明書は下記ページよりダウンロードしてください。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/prereji/index.html>

✧ 教育セッション

- ・参加費は2,000円です。教育セッションは、2013年2月28日(木) 17:00までお申し込みが可能です。
- ・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・教育セッションの内容については下記ページをご参照ください。
<http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/kyouiku/index.html>

✧ ランチョン・ファイアサイドセミナー

- ・プレレジストレーション後に届く「プレレジストレーション完了自動配信メール」に登録内容の確認画面・登録確認書ダウンロード画面のログインURLが記載されております。
- ・ログイン後、期間内(2013年1月中旬～2013年2月28日(木) 17:00まで)にお申し込みください。
- ・プレレジストレーションをされた方のランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

✧ 専門医研修単位登録

- ・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
- ・プレレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会会場内「単位登録受付」でのご登録が必要です。

✧ プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ



学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス
<http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/prereji/index.html>



登録画面に必要事項を入力



登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い(クレジットカードのみ)



IDとしてご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着
★ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷してください。



(1月中旬)



ランチョン・ファイアサイドセミナープレレジストレーション開始

★登録確認画面より、参加登録時に使用したIDとパスワードにてログインの上お申し込みください。

(学術集会当日)

学術集会当日は、ご自身でダウンロード・印刷いただいた「登録確認書」をお持ちください。
自動発券機(CARM)より、ネームカード・教育セッションチケット(お申し込みの方のみ)・領収書・ランチョン・ファイアサイドセミナーチケット(お申し込みの方のみ)が発行されます。



プレレジストレーション時の注意点

- ◎ プレレジストレーション完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべてE-mailで行います。
必ず連絡先として使用されるE-mailアドレスをご入力ください。
- ◎ E-mailアドレスがログインIDとなります。
個人情報登録完了メールにログインIDが記載されますので、ご自身で保管してください。
- ◎ 参加費の払い戻しはできません。二重登録にご注意ください。
- ◎ 登録内容に変更がある場合は、下記登録事務局までE-mailまたはFAXの書面にてご連絡ください。
- ◎ 事前の団体登録は受付いたしません。
- ◎ 領収書は、原則、学術集学会期中に発行いたします。

プレレジストレーションに関するお問い合わせ先

第77回日本循環器学会学術集会参加登録事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2 興信ビル2F
TEL: 03-3508-1253 (受付時間: 平日10時より17時半まで)
FAX: 03-5283-5952
E-mail: reg-jcs2013@convention.co.jp

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項

プレナリーセッション、シンポジウム、一般演題、特別企画の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。

1) プレナリーセッション：

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え、現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
- 総合討論は行わない。

2) シンポジウム：

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません)。

3) 一般演題：

- 発表者は原則として、応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし)。
- 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
 - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

4) 特別企画：

- 真下記念講演、トピックス(*), コントロバーシー, ミートザエキスパート(*), ラウンドテーブルディスカッション, モーニングレクチャー, 教育セッションは日本語で行われます。
*一部セッションは英語で行われます。
- 美甘レクチャー, 特別講演は英語で行われ, 同時通訳付きとなります。

学術集会問合せ先のご案内

第77回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www2.convention.co.jp/jcs2013/> を開設しております。演題応募や学術集会プログラムの確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

1. 採否通知

2012年11月30日(金)から、採択された演題の登録番号、採択演題名、筆頭演者：名をホームページでテグリー別に掲示しておりますので、各自ご確認ください。

2. 国内演者の資格

国内演者は、演題応募の時点で共同演者を含む全員が本学会会員であり、かつ2012年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は、必要な書類を事務局より送付いたしますので、下記まで Fax 又はホームページのいずれかにて請求してください。なお、入会は、入会申込書の提出と入会金2,000円、および2012年度会費15,000円(支部年会費含む)のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
FAX: 03-5501-9855
E-mail: admin@j-circ.or.jp

ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください。

3. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2013/1/15)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2013/1/16～)については、発表業績として取り扱うとし、取り消しはいたしかねます。

4. その他

第77回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは、運営準備室まで E-mail または Fax にてご連絡ください。

第77回日本循環器学会学術集会 運営準備室
(日本コンベンションサービス株式会社)
TEL: 03-3508-1726
FAX: 03-3508-1302
E-mail: jcs2013@convention.co.jp

コメディカルセッション開催要項

〈コメディカルセッション概要〉

第77回日本循環器学会学術集会では、コメディカルの方を対象としたセッションを会期中に3日間行います。コメディカルの方が中心となる一般演題(口述・ポスター)、4つのシンポジウム、そして専門家による5つの教育セッションがごございます。なお、一般演題(口述)において優秀演題を選定し、授賞式において賞の贈呈を行います。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

参加資格

コメディカルスタッフ(看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、栄養士、療法士、救急救命士、医療ソーシャルワーカー、診療放射線技師、その他)

※日本循環器学会の会員でなくても参加ができます。

参加費

7,000円(所定の証明書の提示が必要です)

※コメディカルセッション以外の第77回日本循環器学会学術集会のセッションにもご参加いただけます。

教育セッション

1. 画像診断の最新テクノロジー

座長：吉岡 邦浩(岩手医科大学循環器放射線科)

本間 博(日本医科大学循環器内科)

演者：田中 良一(岩手医科大学医学部)

天野 康雄(日本医科大)

東野 博(松山ハートセンターよつば循環器科クリニック 画像診断センター)

安河内 聡(長野県立こども病院循環器小児科)

2. 震災慢性期一復興期の心不全予防介入の緊急性・重要性

座長：福本 義弘(東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

吉田 俊子(宮城大学看護学部)

演者：福本 義弘(東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

石田 岳史(さいたま市民医療センター内科診療部部長)

佐々木久美子(宮城大学看護学部地域看護学教授)

瀬戸 初江(東北厚生年金病院看護局局長)

酒井 明子(福井大学医学部看護学科教授)

3. 遠隔モニタリングの可能性・自己管理への支援

座長：西井 伸洋(岡山大学循環器内科)

三浦稚郁子(公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院)

演者：酒巻 哲夫(群馬大学医学部附属病院医療情報部)

真中 哲之(東京女子医科大学循環器内科)

前田 明子(杏林大学医学部付属病院不整脈センター)

4. 臨床試験の基礎知識

座長：土井 香(国立循環器病研究センター臨床研究部)

楠岡 英雄(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター循環器科)

演者：渡邊 裕司(浜松医科大学臨床薬理学教授)

松井 健志(国立循環器病研究センター研究開発基盤センター研究倫理研究室室長)

萩田美穂子(京都光華女子大学健康科学部看護学科講師)

5. 血管疾患診療に活かす超音波検査

座長：山本 哲也(埼玉医科大学国際医療センター)

松尾 汎(医療法人松尾クリニック理事長・松尾血管超音波研究室室長)

演者：三木 俊（東北大学病院生理検査センター生理検査部門長）
 八鍬 恒芳（東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部超音波室）
 山本 哲也（埼玉医科大学国際医療センター）

シンポジウム

1. 心臓リハビリテーションにおける運動療法の効果判定

座長：大宮 一人（聖マリアンナ医科大学循環器内科）
 田嶋 明彦（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
 演者：柳 英利（新座志木中央総合病院リハビリテーション科）
 棟近 麻衣（京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部）
 和田 敏裕（誠潤会城北病院理学療法部）
 田畑 稔（北里大学医療系研究科）
 安藤 可織（独立行政法人国立病院機構岡山医療センターリハビリテーション科）
 前田 知子（公益財団法人日本心臓血管研究振興会榊原記念クリニック）

2. PAD 末梢血管疾患の治療と管理

座長：宮本 正章（日本医科大学付属病院再生医療科）
 真田 弘美（東京大学創傷看護学）
 演者：塩田 裕啓（洛和会丸太町病院 CE 部）
 芳賀沼亮二（誠潤会城北病院看護部）
 山端 志保（京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部）
 大江 真琴（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学助教）
 桐木 園子（日本医科大学付属病院再生医療科）

3. 循環器疾患患者への服薬指導・服薬管理

座長：長谷川純一（鳥取大学臨床薬理学）
 谷川原祐介（慶應義塾大学医学部）
 演者：芦川 直也（医療法人澄心会岐阜ハートセンター薬局）
 高田 理佳（名古屋市立大学クリティカルケア看護学）
 松岡 志帆（東京女子医科大学看護学部）
 丹野 佳郎（一般社団法人石巻薬剤師会）

4. ハイブリッド治療時代のコメディカルのコラボレーション

座長：倉谷 徹（大阪大学低侵襲循環器医療学）
 志水 秀行（慶應義塾大学心臓血管外科）
 演者：渡辺 猛（三井記念病院 ME センター）
 新 美保子（帝京大学医学部附属病院 ME 部）
 柳川 康洋（大阪大学）
 北村 雅良（三栄会ツカザキ病院臨床工学部門）
 濱田 智広（大分大学）
 茂田 綾（慶應義塾大学）
 輪島 卓人（榊原記念病院）

一般演題(口述・ポスター)

1. 事例・症例報告
2. 看護(急性期)
3. 看護(慢性期)
4. 薬剤・薬物療法
5. 食事指導・栄養管理
6. 患者教育・カウンセリング
7. 侵襲検査・治療
8. 非侵襲検査・エコー
9. 画像診断(CT, MR, RI)
10. 放射線防護
11. 不整脈・アブレーション



第77回日本循環器学会学術集会 (JCS2013)

12. リハビリテーション・身体活動
13. 心肺運動負荷試験
14. 血液浄化・補助循環・呼吸管理
15. クリティカルパス
16. チーム医療
17. 医療倫理・医療安全
18. 医療専門職の教育
19. 救命救急・災害医療
20. その他

関連会合開催申込みについてのご案内

第77回日本循環器学会学術集会の会期中に、会場であるパシフィコ横浜で開催される各種関連会合のお申込みを受付しております。

詳細はホームページに記載いたしますので、ご確認ください。

なお、正式プログラムの実施時間帯においては、関連会合は開催しないことを基本方針としております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

申込開始日：2012年11月1日(木)

申込締切日：2013年1月31日(木)正午【時間厳守】

①

11/1(木)～1/31(木)
開催申込み・受付

②

2013年1月下旬(予定)
学会会場使用決定後、
関連会合会場決定

③

2/8(金)～22(金)
追加手配物の
申込み・変更

④

2/22(金)～3/1(金)
見積書発行・
手配内容確定

* 詳しくは第77回日本循環器学会学術集会ホームページ

<http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/kanren/index.html> をご覧ください。

* 会場に関しては先着順のご案内とさせていただきます。

室数が限られておりますのでご用意できない場合もございます。

* 2013年3月1日(金)以降のキャンセルにつきましては、キャンセル料(100%)が発生いたします。 あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 77 No. 1 掲載

Circulation Journal Worldwide

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the editorial team of the *Circulation Journal*, the official journal of the Japanese Circulation Society (JCS), I am pleased to report that the scientific and internationalization levels of the Journal are steadily increasing. The JCS should represent not only Japan but also countries in the Asia-Pacific region, which would position the *Circulation Journal* in our region as equivalent to that of *Circulation*, published by the American Heart Association (AHA), in America and the *European Heart Journal*, published by the European Society of Cardiology (ESC), in Europe (**Figure 1**). Indeed, the goal of the editorial team is to continue to enhance the scientific and internationalization levels of the *Circulation Journal*.

1. The Official 2011 Impact Factor

The *Circulation Journal* has earned an official 2011 impact factor (IF) of 3.766, which places the Journal 25th among the 117 journals in the Cardiac & Cardiovascular Systems category, one of the most competitive categories, in the 2011 JCR Science Edition (**Figure 1**).

2. International Editorial Team

The editorial team of the *Circulation Journal* consists of 34 Japanese associate editors, 80 Japanese editorial board members, 16 international associate editors, and 27 international advisory board members. All the international associate editors and advisory board members are internationally recognized cardiovascular researchers, substantially contributing to the enhancing of the Journal's scientific and internationalization levels. I deeply appreciate their valuable contribution to the Journal.

3. International Editorial Board Meeting

The 3rd International Editorial Board Meeting was held in Los Angeles on November 5 during the 2012 AHA Annual Scientific Meeting. A total of 38 Japanese and international associate editors attended and exchanged

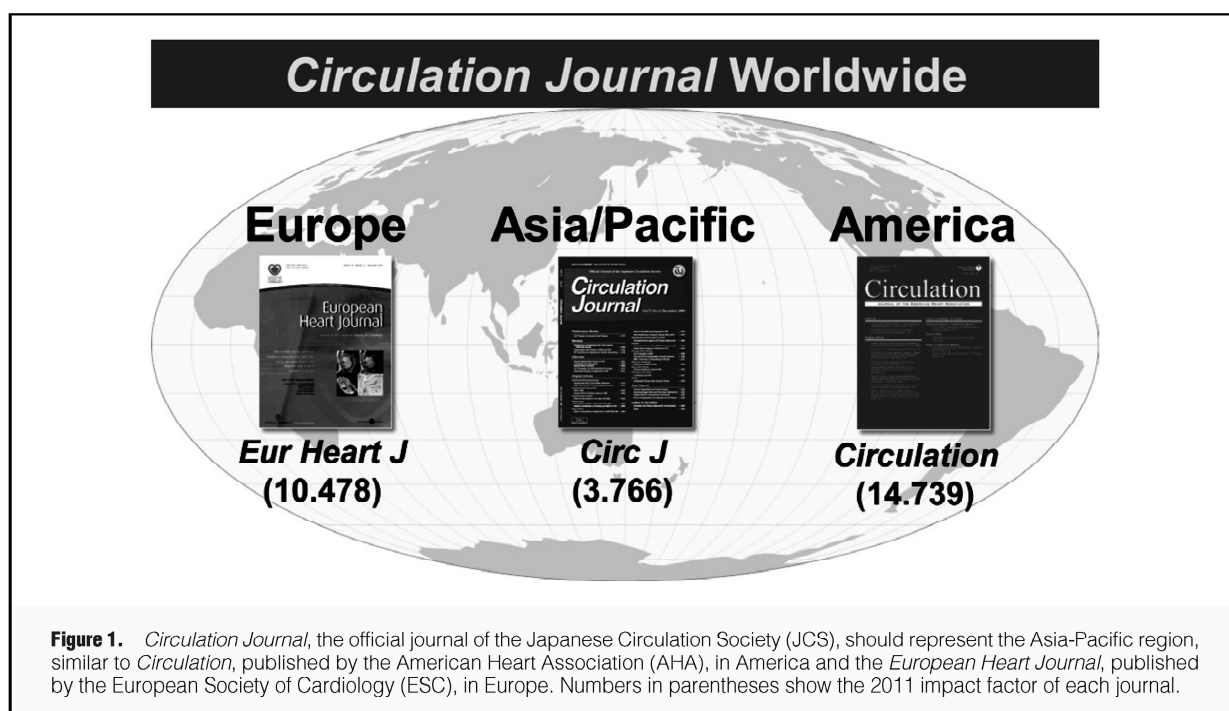




Figure 2. For the 3rd International Editorial Meeting of the *Circulation Journal*, a total of 38 Japanese and foreign associate editors attended and exchanged opinions on how to enhance the scientific and internationalization levels of the Journal. The meeting was very successful. Please visit the homepage of the JCS (<http://www.j-circ.or.jp/english>).

opinions on how to enhance the scientific and internationalization levels of the Journal (**Figure 2**). The meeting was very successful, as many valuable opinions were exchanged in a friendly atmosphere, and I was convinced that the internationalization level of the Journal is truly being enhanced.

4. Review Series by Internationally Recognized Cardiovascular Scientists

I am pleased to report that for 2013, a total of 65 leading cardiovascular scientists have kindly agreed to write review articles for the *Circulation Journal*. I appreciate their valuable contribution to the Journal.

5. New Series on Cardiovascular Epidemiology in Asia

Based on the discussion during the 3rd International Editorial Board Meeting, we will publish a new series on cardiovascular epidemiology in Asia, including overview, ischemic heart disease & stroke, heart failure, arrhythmias, and hypertension & life-style-related diseases, from the July issue of the Journal.

6. International Information Service

In addition to the free on-line journal system with J-Stage, we provide an international e-mail service to inform approximately 6,000 foreign cardiovascular researchers of the contents of the current issue of the Journal each month.

7. Representation at the Annual Scientific Meetings of Major Foreign Cardiovascular Societies

Each year, during the annual scientific meeting of the major foreign cardiovascular societies, such as AHA, ACC, and ESC, the JCS has a booth where information about the *Circulation Journal* is provided to foreign attendees.

Our International Editorial Team would highly appreciate your continuous support and contribution to the *Circulation Journal* in our endeavor to enhance the scientific and internationalization levels of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal
(Released online December 11, 2012)

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2013年度以降に「循環器専門医」受験申請者・研修施設研修関連施設の指導責任者の方へ

【注意!!】循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表の提出が必須となります

第24回(2013年度)循環器専門医試験の受験申請者より「循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表」の提出が必須となります。2013年度以降に「循環器専門医」の受験をご希望の場合は、日本循環器学会認定循環器専門医研修カリキュラムに基づく研修を循環器学会指定研修施設または関連施設にて受験申請までに行ってください。

●受験申請者の方へ

- 1) 研修施設または研修関連施設にて、「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている全ての項目を受験申請時まで修了してください。
- 2) 各項目を修了ごとに指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください。
- 3) 所属の施設にて研修困難な項目がある場合は、検査あるいは治療が可能な本会指定の施設にて研修を行い、その施設の指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください。

●研修施設・研修関連施設の指導責任者の方へ

「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている検査法および治療法で設備状況等により施設内で実施できない項目がある場合、受験申請予定者が関連の本会指定研修施設または関連施設で研修を受けられるようご配慮をお願いします。

全ての研修項目を修了していない場合は受験申請ができませんので、関連の施設との連携も含めご協力をお願いいたします。

「研修カリキュラム達成度評価表」の詳細については下記 URL よりご確認ください。

<http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/hyoukahyou.htm>

※カリキュラム達成度評価表は、受験申請の際にご提出いただきますので、それまで大切に保管してください。
責任者の捺印後の評価表を紛失・喪失された場合には、もう一度最初から研修し直しとなることもございますので、保管には十分にご注意ください。

以上

専門医認定更新の手続きの流れ

(認定4年目の8月中旬) 事務局から「単位取得状況通知書」送付

認定期間終了時まで残り1年8ヶ月
認定更新の条件及び取得単位数の確認

(認定5年目10月) 事務局から「更新に関するご案内」を送付
更新申請書+基本領域の資格証明書を指定のWebページ※2から提出

認定更新の条件

次の5条件全ての手続きが完了していない場合は、資格を更新することができません。

- ① 更新に必要な単位の取得※1
- ② 更新申請書の提出
- ③ 基本領域の資格証明書提出
- ④ 更新料の納入
- ⑤ 年会費の納入

[更新に必要な単位充足]
(12月中旬) 更新料払込用紙送付

[更新に必要な単位不足]
「自己申告」をWebより申請

(12月中旬) 自己申告第1回締切

[更新に必要な単位充足]
(1月中旬) 更新料払込用紙送付

[更新に必要な単位不足]
(1月中旬) 「認定更新のご案内」を再送付
「自己申告」をWebより申請

(3月末) 自己申告最終締切

[更新に必要な単位充足]
(4月中旬) 更新料払込用紙送付

[更新に必要な単位不足]

認定更新条件
[完 備]

認定更新条件
[不 備]

認定更新完了
「専門医証」送付

循環器専門医「資格喪失」

循環器専門医「資格喪失」

注：認定更新条件の充足時期によって送付日程が変わります

1月末までに充足：3月中旬 2月末までに充足：4月上旬 3月以降に充足：4月下旬以降に送付

※1 「更新に必要な単位」については p.36 をご確認ください。

※2 インターネットによる専門医更新申請が可能となりました。更新申請の手順等の詳細は認定5年目の10月中旬頃に送付いたします「更新に関するご案内」に同封させていただきます。

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

【必修研修と単位数】

① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全・医療倫理 web 研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2008/4/1～2013/3/31	2008/4/1～2013/3/31
2009/4/1～2014/3/31	2009/4/1～2014/3/31
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31

【留学による特別措置】**1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について**

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APCC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2009年度にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

※留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、現状通り取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
TEL：075-257-5830
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

「専門医カード」再発行のご案内

「循環器専門医研修単位登録」は、早くて便利な「専門医カード」による登録をお願いします。「専門医カード」は、本学会学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含む)・医療安全・医療倫理に関する講演会の単位登録手続きにご利用いただけます。

再発行は下記スケジュールで受け付けております。秋期の地方会に向けてご準備くださいますようお願いいたします。

●再発行時期(年3回)

2月下旬発行……12月末迄に申請された方には、3月の年次学術集会までに発行

5月上旬発行……3月末迄に申請された方には、春期の地方会までに発行

9月上旬発行……7月末迄に申請された方には、秋期の地方会までに発行

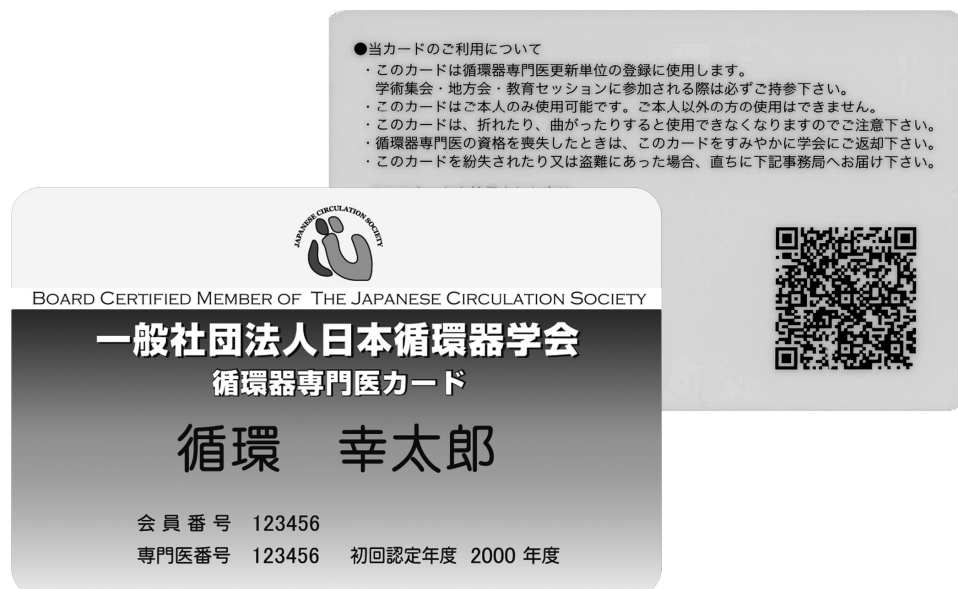
●再発行手数料

3,150円

●手順

1. 「循環器専門医カード再発行申請書」(次ページ)に記入のうえ、本会事務局までお送りください(FAX・郵便・e-mail)。
2. 学会から再発行手数料の請求書を送付します。
3. 郵便局から再発行手数料を納入してください。
4. 入金確認後、上記当該時期に郵送します。

以上



(一社)日本循環器学会専門医制度委員会
循環器専門医カード再発行申請書

一般社団法人 日本循環器学会
代 表 理 事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。
なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：
会員番号：(6桁)
生年月日： (西暦) 19 年 月 日
事務局への連絡事項：

※事務手続きの都合上、発行(発送)時期は年3回となります。

①12月末迄に申込→2月末発行 ②3月末迄に申込→5月上旬発行

③7月末迄に申込→9月上旬発行

※手続きには再発行料(¥3,150(税込))が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

※請求書送付から1カ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは送本先へ送付致します。

※事務局記入欄

申請受付	請求書送付	入金確認	カード送付

学会事務局 TEL (075)257-5830 FAX (075)213-1675 e-mail : senmoni@j-circ.or.jp

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては、学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>) **循環器専門医制度** をご確認の上、必要書類をダウンロードしてください。

- 証明書交付申請(和文証明・英文証明書発行、循環器専門医証再発行)
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他、専門医制度に関する情報を学会ホームページ **循環器専門医制度** に掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先：

一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)

専門医制度委員会 担当

TEL：075-257-5830 FAX：075-213-1675

E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

1. 日本循環器学会地方会

(単位登録票方式／

地方会：5単位、教育セッション：3単位、医療安全：2単位※)

※医療安全については各地方会により開催が異なります。各支部へ直接お問い合わせください。

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第109回北海道地方会

会期：2013年6月22日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：東 信良

(旭川医科大学外科学講座循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野)

第156回東北地方会

会期：2013年6月1日(土)

会場：岩手医科大学付属循環器医療センター(盛岡市)

会長：奥村 謙

(弘前大学大学院医学研究科循環呼吸腎臓内科学)

第157回東北地方会

会期：2013年12月7日(土)

会場：仙台国際センター(仙台市)

会長：下川宏明

(東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野)

第227回関東甲信越地方会

会期：2013年2月9日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：天野 篤(順天堂大学心臓血管外科)

第228回関東甲信越地方会

会期：2013年6月15日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：石光俊彦(獨協医科大学循環器内科)

第229回関東甲信越地方会

会期：2013年9月14日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：西崎光弘(横浜南共済病院循環器内科)

第141回東海地方会

会期：2013年6月22日(土)

会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

(愛知県名古屋市)

会長：天野哲也(愛知医科大学循環器内科)

第142回東海・第127回北陸合同地方会

会期：2013年11月9日(土)～10日(日)

会場：金沢エクセルホテル東急(金沢市)

会長：芳村直樹

(富山大学大学院医学薬学研究部外科学(呼吸・循環・総合外科)講座)

第115回近畿地方会

会期：2013年6月15日(土)

会場：国立京都国際会館

会長：木村 剛

(京都大学大学院医学研究科内科系専攻内科学講座)

第116回近畿地方会

会期：2013年11月30日(土)

会場：大阪国際交流センター

会長：増山 理(兵庫医科大学内科学循環器内科)

第102回中国・四国合同地方会

会期：2013年5月10日(金)～11日(土)

会場：サンポートホール高松(高松市)

会長：坂東重信(香川県立白鳥病院院長)

第114回九州地方会

会期：2013年6月29日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：土橋卓也

(独立行政機構国立病院機構九州医療センター高血圧内科)

2. 循環器関連学会

(自己申告方式／3単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第43回日本心臓血管外科学会

会期：2013年2月25日(月)～27日(水)

会場：ホテルグランバシフィック LE DAIBA(港区)

会長：小山信彌(東邦大学心臓血管外科)

3. 関連学会

(自己申告方式／1単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第40回日本集中治療医学会

会 期：2013年2月28日(木)～3月2日(土)

会 場：長野県松本文化会館、松本市総合体育館、他
(松本市)

会 長：岡本和文

(信州大学高度救急医療センター集中治療部)

第90回日本生理学会

会 期：2013年3月27日(水)～29日(金)

会 場：タワーホール船堀(江戸川区)

会 長：石川義弘(横浜市立大学循環器制御医学)

4. 医学会総会

(専門医単位／5単位)

医学会総会

5. 本会指定の国内学術集会・学術講演会

(自己申告方式／1単位)

6. 本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)

(自己申告方式／2単位)

上記5. および6. の「指定研修集会制度」は2012年3月をもって終了しました。

自己申告区分として単位申請可能な会については、学会HPにてご確認ください。

7. 国際学会等

(自己申告方式／2単位)

ACC Annual Meeting

AHA Scientific Sessions

APCC

ESC Congress

WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください。

海外学会情報

ACC Annual Scientific Session

会 期：2013年3月9日(土)～11日(月)

会 場：San Francisco(U.S.A)

U R L : <http://www.cardiosource.org/>

会 場：Amsterdam(Netherlands)

U R L : <http://www.escardio.org/>

ESC Congress 2013

会 期：2013年8月31日(土)～9月4日(水)

AHA Scientific Sessions 2013

会 期：2013年11月16日(土)～20日(水)

会 場：Dallas(U.S.A)

U R L : <http://www.americanheart.org/>

その他の学会開催情報

第24回ビタミンE研究会

会 期：2013年1月11日(金)～12日(土)

会 場：慶應義塾大学芝共立キャンパス1号館地下1階マルチメディア講堂

世話人：安西和紀(日本薬科大学物理系薬学分野)

金澤秀子

(慶應義塾大学薬学部創薬物理化学講座)

問合先：〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル1F ビタミンE研究会事務局 清水佐久良

Tel. 03-5940-2620 Fax. 03-3942-6386

E-mail: vitamin-e@sunpla-mcv.com

(日本大学医学部内科学系総合内科学分野)

代表幹事：加藤貴雄(日本医科大学第一内科)

事務局：笠巻祐二

(日本大学医学部内科学系総合内科学分野)

第10回心電図伝送システム研究会

会 期：平成25年2月16日(土)午前9時から

会 場：日本大学会館(東京都千代田区九段南4-8-24, Tel. 03-5275-8110)

会 長：池田隆徳

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野)

代表世話人：加藤貴雄(日本医科大学第一内科)

田邊晃久

(東海大学医学部循環器内科/海老名総合病院)

事務局：笠巻祐二

(日本大学医学部内科学系総合内科学分野)

第23回体表心臓微小電位研究会

会 期：平成24年2月16日(土)午後1時から

会 場：日本大学会館(東京都千代田区九段南4-8-24, Tel. 03-5275-8110)

会 長：笠巻祐二

KCJL(近畿心血管治療ジョイントライブ)2013

会 期：2013年 4月18日(木)～ 4月20日(土)

会 場：メルパルク京都

代表世話人：上田欽造(洛和会丸太町病院)

問合先：KCJL 事務局

〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E

Tel. 0532-57-1278 Fax. 0532-52-2883

Email: kcjl@kcjl.gr.jp

URL: <http://www.kcjl.gr.jp>

研 究 助 成

公益財団法人福田記念医療技術振興財団第23回(平成24年度)研究助成等募集

(公財)福田記念医療技術振興財団では、MEを利用した医療技術に関する研究助成を行っており、4月1日より次のとおり募集を行う。

公募事業

①国際交流助成

- 1) 研究留学：100万円／件を限度に計4件
- 2) 国際会議出席：30万円／件を限度に計4件
- 3) 海外からの研究者招聘：100万円／件を限度に計4件

②論文表彰(副賞50万円)：2件

応募締切(当日消印有効)

①については後期分2012年12月31日

②については2012年12月31日

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付

問合先：〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20

フクダ電子(株)春木町ビル内

公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局

Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268

URL: <http://www.fukudakinen.or.jp>

第2回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究助成

対象分野：循環器疾患に対する一次～三次予防(発症予防、重症化予防、再発防止)のいずれかを目的とした臨床疫学研究

対象者：医師・保健師・看護師・管理栄養士・栄養士・薬剤師等医療関係に携わる者

対象となる研究：今後、応募者が主体となって調査・研究を行う臨床疫学研究であること(既にデータ収集が完了している研究は除く)

助成額：1件最大500万円とし原則として数件(総額1,500万円)

応募資格：

- 1) 日本国内での研究に携わるわが国に在住する者
- 2) 平成25年3月31日時点で40歳未満の者
- 3) 同一研究テーマで他の助成を受けていない者
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること

6) 助成対象に選出された場合、日循協会員となり、平成25年6月14日(金)開催の第49回日本循環器病予防学会で研究概要を発表できる者

応募期間：2012年12月1日～2013年1月10日

問合先：〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1

小田急第一生命ビル4階

公益財団法人日本心臓財団

Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822

E-mail: shinsei@jhf.or.jp

URL: <http://www.jhf.or.jp/>

第9回日本心臓財団・ノバルティス

循環器分子細胞研究助成募集要項

助成対象：循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする。研究対象は基礎あるいは臨床の別は問わない。

助成額：1件100万円で合計10件

応募資格：

- 1) わが国に在住する者
- 2) 年齢が40歳未満(2012年4月1日時点の年齢)
- 3) 原則として臨床系教室およびそれに準ずる施設
- 4) 原則として個人研究
- 5) ただし、次の事項に該当する場合は応募できない

① 過去に本研究の助成対象となった者

② 前年度の助成課題の連続応募

6) 応募は一人一題とする

応募期間：2012年12月1日～2013年1月31日(必着)

問合先：〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1

小田急第一生命ビル4階

公益財団法人日本心臓財団

Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822

E-mail: info@jhf.or.jp

URL: <http://www.jhf.or.jp/>

公益財団法人循環器病研究振興財団

第21回(2013年度)バイエル循環器病研究助成募集要項

研究テーマ：日本人の血栓・塞栓の特異性

助成金額：500万円／1件、250万円／2件

応募資格：1969年4月1日以降に生まれた日本に在住する研究者

応募方法：ホームページから申請書および承諾書を各

自入手し、推薦者および所属機関長の署名・
職印捺印の上、財団まで送付のこと

応募締切：2013年1月15日～2013年3月15日(同日消
印有効)

問合先：〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器
病センター内 公益財団法人循環器病研究振
興財団「バイエル循環器病研究助成」係
Tel. 06-6872-0010 Fax. 06-6872-0009
E-mail: koubo@jcvrf.jp
URL: <http://www.jcvrf.jp>

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください。

受講料 32,000円

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者に限定します)

受講申し込み方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がありますので、ホームページにてご確認ください。

JCS-ITC2013/01/05-06関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月5日(土)～6日(日)の2日間

会場：相澤病院ヤマサホール(長野県松本市本庄)

受講募集人数：18名

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)

12月19日(水)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

E-mail: acsljcskanto@acsl-jcs.org

JCS-ITC2013/01/05-06東北支部弘前大学附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月5日(土)～6日(日)の2日間

会場：弘前大学附属病院2病棟9階スキルズラボ又は内科外来(青森県弘前市本町)

受講募集人数：12名

コースディレクター：花田裕之(弘前大学医学部)

12月27日(木)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

弘前大学医学部救急災害医学講座(救命救急センター) 花田裕之

Phone: 0172-39-5429

Fax: 0172-39-5316

E-mail: hanada68@cc.hirosaki-u.ac.jp

JCS-ITC2013/01/12-13北海道支部国立病院機構函館病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月12日(土)～13日(日)の2日間
会場：国立病院機構函館病院 講堂(北海道函館市川原町)
受講募集人数：15名
コースディレクター：高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)
12月24日(月)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会北海道支部事務局 石森直樹
Phone: 011-706-6973
Fax: 011-706-7874

JCS-ITC2013/01/12-13近畿支部市立和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月12日(土)～13日(日)の2日間
会場：和歌山県立医科大学 臨床技能研修センター(和歌山県和歌山市紀三井寺)
受講募集人数：12名
コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)
12月16日(日)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2013/01/12-13関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月12日(土)～13日(日)の2日間
会場：国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区東が丘)
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)
12月19日(水)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/01/19-20四国支部近森第二分院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月19日(土)～20日(日)の2日間
会場：近森第二分院 6F ホール(高知県高知市大川筋)
受講募集人数：12名
コースディレクター：川井和哉(近森病院循環器科)
12月25日(火)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
高知大学医学部・総合診療部 山崎聡子
Phone: 088-880-2515
Fax: 088-880-2518
E-mail: ahakts@mac.com

JCS-ITC2013/01/19-20関東甲信越支部レールダル本郷トレーニングセンター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月19日(土)～20日(日)の2日間
会 場：レールダル本郷トレーニングセンター(東京都文京区本郷)
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人(東京都立神経病院麻酔科・ICU)
12月16日(日)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
E-mail: aclsjcskanto@acsl-jcs.org

JCS-ITC2013/01/26-27九州支部宮崎市郡医師会病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年1月26日(土)～27日(日)の2日間
会 場：宮崎市郡医師会病院(宮崎県宮崎市新別府町)
受講募集人数：12名
コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療センター循環器内科)
12月16日(日)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
熊本地域医療センター循環器内科 平井信孝
Email: nobutaka@krmc.or.jp

JCS-ITC2013/02/02-03関東甲信越支部長野赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月2日(土)～3日(日)の2日間
会 場：長野赤十字病院(長野県長野市若里)
受講募集人数：18名
コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)
2013年1月17日(木)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
E-mail: aclsjcskanto@acsl-jcs.org

JCS-ITC2013/02/09-10九州支部九州厚生年金病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月9日(土)～10日(日)の2日間
会 場：九州厚生年金病院 3階講堂(福岡県北九州市八幡西区)
受講募集人数：15名
コースディレクター：的場哲哉(九州大学病院循環器内科)
2013年1月13日(日)まで募集
問い合わせ：
九州大学病院循環器内科 肥後太基
E-mail: jcs.kyushu@gmail.com

JCS-ITC2013/02/16-17九州支部鹿児島大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月16日(土)～17日(日)の2日間
会 場：鹿児島大学病院 保健学科5階(鹿児島県鹿児島市桜ケ丘)
受講募集人数：12名
コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療センター循環器内科)
2013年1月13日(日)まで募集
問い合わせ：
熊本地域医療センター循環器内科 平井信孝
Email: nobutaka@krmc.or.jp

JCS-ITC2013/02/16-17関東甲信越支部レールダル本郷トレーニングセンター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月16日(土)～17日(日)の2日間
会 場：レールダル本郷トレーニングセンター(東京都文京区本郷)
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人(東京都立神経病院麻酔科・ICU)
2013年1月20日(日)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
E-mail: aclsjcskanto@acsl-jcs.org

JCS-ITC2013/02/23-24北海道支部北海道大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月23日(土)～24日(日)の2日間
会 場：北海道大学病院 管理棟2階(北海道札幌市北区)
受講募集人数：24名
コースディレクター：高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)
2013年2月11日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会北海道支部事務局 石森直樹
Phone: 011-706-6973
Fax: 011-706-7874

JCS-ITC2013/02/23-24近畿支部誠佑記念病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月23日(土)～24日(日)の2日間
会 場：誠佑記念病院(和歌山県和歌山市西田井)
受講募集人数：12名
コースディレクター：友渕佳明(誠佑記念病院)
1月20日(日)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2013/02/23-24東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年2月23日(土)～24日(日)の2日間
会 場：名古屋医療センター(愛知県名古屋市中区三の丸)
受講募集人数：24名
コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)
1月28日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

ACLS プロバイダー資格更新コース

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること
2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補 1) 有効期限を過ぎている ACLS カードを有している場合、更新コースの受講は可能です。

ただし、実技試験、筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので、万一、両試験に 1 回で合格しない場合には、ACLS 更新コースの再受講は不可となっております。

改めて 2 日間の通常の ACLS コースを受講いただくことになります(受講料も新たに必要となります)。

追補 2) AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には、ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません。

JCS-ITC2013/02/24 東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2013年 2 月 24 日(日)

会 場：名古屋医療センター(愛知県名古屋市中区三の丸)

受講募集人数：12名

コースディレクター：真弓俊彦(一宮市立市民病院)

1 月 28 日(月)まで募集

問い合わせ：

日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365

Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように、喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても、虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患、呼吸器疾患、がん、その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です。禁煙推進委員会では、医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育 2 版』という喫煙防止映像教材(DVD)を制作し、その販売をしておりますのでご案内申し上げます。

会員・非会員を問わずご購入いただけます。日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき、是非ご活用いただければ幸いです。

なおご購入のお申し込み・お問い合わせは、下記の特約代理店までお願い致します。

〈内容〉

- Part. 1: たばこ、やめてね
(小学校 1, 2 年生用 / 6 分)
- Part. 2: タバコのけむりはあぶないよ!!
(小学校 3, 4 年生用 / 10 分)
- Part. 3: タバコって本当はどんなもの?
(小学校 5, 6 年生用 / 12 分)
- Part. 4: 考えてみよう タバコと健康
(中学生・高校生用 / 14 分)
- Part. 5: タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
(一般・大学生用 / 17 分)

〈価格〉

1,995 円

(税込, 送料別)

〈購入お申し込み・お問い合わせ〉

(特約代理店)

(株)少年写真新聞社 メディア開発部

TEL: 03-3261-4001

FAX: 03-5276-7785

URL: <http://www.schoolpress.co.jp/home.html>



教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、50円切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限りま

す。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはE-mail (meeting@j-circ.or.jp)かファックス(075-213-1675)で、ご希望のタイトル、VHSかDVD(一部CD-ROM)か、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器研修ビジュアルシリーズ(VHS/CD-ROM 各巻 ¥9,975 日循会員価格 ¥6,300 税込)

2004年度製作分(VHS/CD-ROM) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 6. 「循環器 Physical Examination の実際」

監修：吉川 純一（大阪市立大学循環器病態内科学）

2005年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 7. 「循環器病の画像診断—心臓 CT, MRI」

監修：栗林 幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

Vol. 8. 「大動脈・末梢血管疾患の超音波診断」

監修：鄭 忠和（鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学）

2006年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 9. 「メタボリックシンドロームの診断と基準」

監修：島本 和明（札幌医科大学内科学第二）

Vol.10. 「カテーテルアブレーションによる不整脈治療の実際」

監修：相澤 義房（新潟大学医歯学総合研究科循環器学分野）

2007年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol.11. 「弁膜症の内科治療と手術のタイミング」

監修：吉田 清（川崎医科大学循環器内科）

Vol.12. 「急性冠症候群の治療戦略」

監修：木村 剛（京都大学循環器内科）

2008年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1. 「急性心不全の診断と治療戦略(第2版)」

監修：堀 正二（大阪府立成人病センター）

Vol.13. 「大動脈疾患の診断と治療戦略」

監修：上田 裕一（名古屋大学心臓外科学）

栗林 幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

2009年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 4. 「抗不整脈薬の使い方(Ⅱ)(第2版)」

監修：新 博次（日本医科大学多摩永山病院）

Vol.15. 「糖尿病患者のフットケア」

監修：笹嶋 唯博（旭川医科大学第一外科）

2010年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 2. 「抗不整脈薬の使い方(Ⅰ)(第2版)」

監修：堀江 稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）

Vol.14. 「心臓リハビリテーションの新たな展開」

監修：後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

New

2011年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日:2014年3月31日

Vol.3.「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第2版)」

監修:筒井 裕之(北海道大学循環病態学)

Vol.16.「冠循環の形態的,機能的評価」

監修:赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」

監修:許 俊鋭(東京大学重症心不全治療開発講座)

■循環器教育セッション CD-ROM(各回3巻セット ¥9,450 税込)

第33回循環器教育セッション 2005年3月19日(土)~21日(月)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 新しい高血圧ガイドライン JSH-II

座長:土居 義典(高知大学科年病科・循環器科)

藤田 敏郎(東京大学内科学)

セッションⅡ 心臓弁膜症をいかに診断し,いかに治療するか

座長:吉川 純一(大阪市立大学循環器病態内科学)

川副 浩平(岩手医科大学附属循環器医療センター)

セッションⅢ 冠動脈疾患の治療の進歩—早期及び遠隔成績から—

座長:遠藤 真弘(東京女子医科大学心臓血管外科)

木村 剛(京都大学循環器内科)

第34回循環器教育セッション 2006年3月24日(金)~26日(日)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 心不全の治療—薬物療法から非薬物療法まで—

座長:矢野 捷介(長崎大学循環制御内科学)

高野 照夫(日本医科大学内科学第一)

セッションⅡ メタボリック・シンδροーム—本邦の診断基準—

座長:松澤 佑次(住友病院)

島本 和明(札幌医科大学第二内科)

セッションⅢ 不整脈の治療—薬物療法から非薬物療法まで—

座長:笠貫 宏(東京女子医科大学循環器内科)

児玉 逸雄(名古屋大学環境医学研究所循環器分野)

第35回循環器教育セッション(DVD) 2007年3月15日(木)~17日(土)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 心筋・血管再生医療の展開

座長:小室 一成(千葉大学循環病態医科学)

室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

セッションⅡ 各学会ガイドラインの比較:リスク重積患者に対する治療法

座長:藤田 敏郎(東京大学腎臓内分泌内科)

代田 浩之(順天堂大学循環器内科)

セッションⅢ ACSのリスク層別化と治療戦略—PCIとCABGを中心に—

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

座長:幕内 晴朗(聖マリアンナ医科大学心臓血管外科)

西村 重敬(埼玉医科大学循環器内科)

第36回循環器教育セッション(DVD) 2008年3月28日(金)~30日(日)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了。単位付与不可

セッションⅠ 心疾患患者の心臓手術・非心臓手術のリスク評価

座長:吉川 純一(大阪掖済会病院)

上田 裕一(名古屋大学心臓外科)

セッションⅡ 日本における心臓突然死

座長:笠貫 宏(東京女子医科大学循環器内科)

三田村秀雄(東京都済生会中央病院)

セッションⅢ 糖尿病と循環器疾患

座長：島本 和明（札幌医科大学第二内科）
 犀川 哲典（大分大学循環器病態制御講座）

第37回循環器教育セッション(DVD 4巻セット ¥12,600税込) 2009年3月20日(金)～23日(日)

単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1 ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(1)

1. 「EPS」ビデオライブ

座長：福並 正剛（大阪府立急性期・総合医療センター心臓血管センター）
 松本 万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

2. 「外科『弁形成術』」ビデオライブ

座長：澤 芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科）
 宮本 裕治（兵庫医科大学心臓血管外科）

Vol. 2 ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(2)

1. 「PCI」ビデオライブ

座長：南都 伸介（関西労災病院循環器科）
 一色 高明（帝京大学循環器科）

2. 「EVT」ビデオライブ

座長：南都 伸介（関西労災病院循環器科）
 古森 公浩（名古屋大学血管外科）

Vol. 3 JSH-2009による高血圧の管理と心血管病

座長：荻原 俊男（大阪府立急性期・総合医療センター）
 島本 和明（札幌医科大学第二内科）

Vol. 4 循環器疾患の抗凝固・抗血小板療法

座長：一色 高明（帝京大学循環器科）
 是恒 之宏（国立病院機構大阪医療センター臨床研究部）

第38回循環器教育セッション(DVD 4巻セット ¥12,600税込) 2010年3月5日(金)～7日(日)

単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1 ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(1)

1. 「不整脈電気生理」ビデオライブ

座長：内藤 滋人（群馬県立心臓血管センター）
 静田 聡（京都大学循環器内科）

2. 「外科」ビデオライブ

座長：四津 良平（慶應義塾大学心臓血管外科）
 佐賀 俊彦（近畿大学心臓血管外科）

Vol. 2 ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(2)

1. 「PCI」ビデオライブ

座長：一色 高明（帝京大学循環器内科）
 木村 剛（京都大学循環器内科）

2. 「末梢血管インターベンション」ビデオライブ

座長：横井 良明（岸和田徳洲会病院循環器内科）
 木村 剛（京都大学循環器内科）

Vol. 3 睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患

座長：山科 章（東京医科大学第二内科）
 安藤 真一（福岡県済生会二日市病院循環器内科）

Vol. 4 炎症と循環器疾患

座長：野出 孝一（佐賀大学循環器・腎臓内科）
 竹石 恭知（福島県立医科大学内科学第一講座）

第39回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2011年8月3日(水)～4日(木)

単位申請期日：2014年3月31日

第39回より DVD-ROM に仕様変更し、1枚のディスクにまとめました。DVD-ROM は家庭用 DVD レコーダーでは再生できませんのでご注意ください。

セッションⅠ ビデオで見る最新の心血管カテーテル治療

1. 心房細動に対するカテーテルアブレーション
座長：熊谷浩一郎（国際医療福祉大学循環器内科）
山根 禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）
 2. ASD のカテーテル閉鎖術
座長：中西 敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）
高山 守正（榊原記念病院）
 3. ここまで来た胸部ステントグラフト内挿術
座長：吉川 公彦（奈良県立医科大学放射線医学教室）
加藤 雅明（森之宮病院心臓血管外科）
- セッションⅡ 高齢者における循環器疾患の管理と問題点
座長：荻尾 七臣（自治医科大学循環器内科学部門）
江頭 正人（東京大学総合研修センター）
大内 尉義（東京大学加齢医学講座）
- セッションⅢ 心臓手術後のリハビリテーションー内科・外科の連携ー
座長：野原 隆司（北野病院心臓センター）
佐賀 俊彦（近畿大学心臓血管外科）

New

第40回循環器教育セッション DVD-ROM ￥5,000(税込) 2012年3月16日(金)～18日(日)

単位申請期日：2014年3月31日

セッションⅠ

1. 心房細動のアブレーション：CFAE 法
座長：Koonlawee Nademanee (Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA)
奥村 謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
 2. 3D エコーと僧帽弁形成術
座長：尾辻 豊（産業医科大学第二内科）
川副 浩平（聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科）
 3. 大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植込み術
座長：友池 仁暢（榊原記念病院）
中谷 敏（大阪大学保健学専攻）
- セッションⅡ 重症心不全治療の新しい展開
座長：和泉 徹（北里大学循環器内科学）
許 俊鋭（東京大学重症心不全治療開発講座／東京都健康長寿医療センター心臓外科）
- セッションⅢ 肺動脈血栓塞栓症の予防・診断・治療
座長：安藤 太三（藤田保健衛生大学心臓血管外科）
伊藤 正明（三重大学循環器・腎臓内科学）

※座長所属はセッション開催時のもの。



日本循環器学会学術集会 DVD-ROM発売!!

福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡・福岡国際センターでの講演記録

会期：2012年3月16～18日

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入で本人様のみに限ります。単位交付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

当DVDのご購入は
会員限定です!

これ一枚で**61セッション 342延べ座長・演者、
74時間収録!**

販売中
価格 5,000円 (送料・税別)
DVD購入者はWEBでも視聴いただけます。

<収録内容>

美甘レクチャー	1セッション
ML. Aortic Stenosis in the Elderly: Diagnosis and Management	
真下記念講演	1セッション
MML. Receiving the Nobel Prize in Chemistry	
100歳記念講演	1セッション
MLC. A Message to My Younger Peers - What I Have Learned over a Lifetime -	
会長講演	1セッション
CCL. Holistic Medical Care for Patients with Heart Failure	
特別講演 1～12 SL5を除く全て	11セッション
SL1. Adventures in Cardiovascular Research	
SL2. Regulation of Myocardial Survival and Death by Autophagy during Ischemia and Reperfusion	
SL3. Inflammation and Vascular Injury: Basic Discovery to Drug Development	
SL4. Innovative Natriuretic Peptide Therapeutics for Cardiovascular Disease	
※ SL5. Heart Failure in the 21st Century: Challenges and Progresses	
SL6. Current Concepts and Management of Brugada Syndrome; Two Decades of Progress	
SL7. Update in Brugada Syndrome	
SL8. Endothelial Function from Bench to Clinical Practice	
SL9. Principal physiological and medical problems of the long-term space mission. Personal experience.	
SL10. Ventriculo-vascular Interaction	
SL11. Practical Approach to Using Strain Echocardiography to Evaluate the Left Ventricle	
SL12. Constrictive Pericarditis	
招待講演 1～3 IL2を除く全て	2セッション
IL1. Sympathetic Hyperactivity Activity. Implications for Cardiovascular and Metabolic Diseases	
※ IL2. Tissue Specific Adult Stem Cells	
IL3. Integrated Cardiovascular Imaging	
16th Asian-Pacific Congress on Doppler and Echocardiography	
ポスターセッションを除く全て	会長特別企画 (1) 10セッション
APCDE-LEC1. Many Faces of SAM: Mechanisms and Management	
APCDE-LEC2. Apical Hypertrophic Cardiomyopathy: A Quarter Century Follow-up with Reference to the Eventful as well as Uneventful Natural Courses	
APCDE-SY1. Heart Failure 1	
APCDE-SY2. Heart Failure 2	
APCDE-SY3. Heart Failure 3	
APCDE-SY4. Valvular Heart Disease	
APCDE-SY5. Ischemic Heart Disease	
APCDE-SY6. Topics 1	
APCDE-SY7. Topics 2	
APCDE-IIC. APCDE International Interesting Cases	
久山町研究 50周年記念シンポジウム 1,2 全て	
	会長特別企画 (2) 2セッション
IIS1. Memorial Lecture (Plenary Session on Special Lecture) on IISAYAMA STUDY "Clinico-Epidemiological and Pathological Studies"	
HS2. Cardiovascular Epidemiology in the East and the West	

プレナリーセッション 1～7 全て	7セッション
PS1. Optimal Antithrombotic Treatment in Patients with Coronary Artery Disease: Racial Considerations	
PS2. Molecular Mechanism of Plaque Destabilization and Calcification	
PS3. Total Arrhythmic Management for Advanced Heart Failure	
PS4. ステージ D 心不全治療の現状と課題	
PS5. 再生医学のトピックス - 基礎研究から臨床への展開 -	
PS6. Current Status and Future Perspective in Echocardiography	
PS7. 循環器診療における和温療法の実状と展望	
シンポジウム 1,3,5,6,8,14,15,16,17,21	10セッション
SY1. 冠血行再建の最前線	
SY3. 動脈硬化のバイオマーカーの臨床的意義	
SY5. Heart Failure with Preserved Ejection Fraction に関する最新知見	
SY6. Diagnosis of Heart Failure Using Genetic Biomarker	
SY8. Progress of Regeneration Research - from iPS to Medical Engineering -	
SY14. 循環器疾患における性差医療の現状と展望	
SY15. Breaking Up the Vicious Cycle of Cardiorenal Connection! Elucidation of Molecular Mechanism and Development of New Therapeutic Strategy	
SY16. Current Status and Future Perspective of Valvular Heart Disease in Aged Patients	
SY17. 肺高血圧症治療の最前線	
SY21. 循環器疾患の成因における慢性炎症の意義	
ラウンドテーブルディスカッション 2	1セッション
RD2. 末梢動脈疾患に対する包括的リハビリテーション普及に向けて	
トピックス 3,5,7,9,11	5セッション
TP3. 心血管系の Anti-Aging	
TP5. 冠動脈疾患における冠攣縮の新知見	
TP7. 体内時計と循環器疾患	
TP9. 埋込み型人工心臓の現状と展望	
TP11. 高齢者と女性の脂質コントロールをどうするか	
コントロールシー 1,4	2セッション
CON1. ARB の 12 年を経過する：降圧を超えた心保護効果はあったのか？	
CON4. ワルファリン vs 新規抗凝固薬	
ミート・ザ・エキスパート 2,3,7	3セッション
ME2. Treating Mitral Regurgitation	
ME3. Future Direction of HDL Targeting Therapy	
ME7. 心臓病理と循環器臨床のクロストーク (心筋生検研究会)	
スペシャルモーニングレクチャー	1セッション
SML. Clinical Implication of the Developments in Cardiovascular Imaging	
Late Breaking Clinical Trials 1,2,3 全て	3セッション
LBCT1. Late Breaking Clinical Trials 1	
LBCT2. Late Breaking Clinical Trials 2	
LBCT3. Late Breaking Clinical Trials 3	
開会式・閉会式	

※こちらの演題は収録していません。

DVDに収録されている内容はご同意が得られた演題のみになります。

DVD 収録時間の制約のため収録できなかったセッションもございますが、ご了承下さい。

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスして下さい。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL : 092(451)5120

FAX : 092(481)7750

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人 日本循環器学会

〒604-8172 京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町 599 CUBE OIKE 8F

TEL : 075-257-5830 FAX : 075-213-1675

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F

TEL : 092(451)5120 FAX : 092(481)7750

第76回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,000 (送料、税込)

お申込方法

お申込み、ご購入は会員限定です。会員番号を必ずご記入下さい。

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページから、又は、次のURLにアクセスしお申込ください

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**092(481)7750** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払い下さい。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法ご案内の際お申し出ください。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第76回 学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入下さい。)

2012年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号 (必ずご記入下さい)
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所 (ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先 TEL : FAX :		
E-mail アドレス @		

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

和文論文投稿誌「心臓」2013年(第45巻 第1号～12号)年間購読申し込みのご案内

2012年4月(第44巻 第4号)より、「心臓」は(公財)日本心臓財団と(一社)日本循環器学会の共同発行となりました。

循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。ぜひ年間を通してご購読ください。

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団，一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社協和企画 心臓編集室

発売：株式会社西村書店

編集委員会

山口 徹(編集委員長)，代田浩之(副編集委員長)，磯部光章，小野 稔，加藤貴雄，木村一雄，倉林正彦，佐地勉，竹石恭知，百村伸一，山科 章，四津良平

定価 2,100円(本体2,000円+税)

年間予約購読料(12冊分) 25,200円(本体24,000円，送料は負担いたします)

申し込み・問い合わせ

株式会社西村書店 担当：岩永

電話：03-3293-9311 FAX：03-3293-9314

事務局からのお知らせ

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は、希望者のみへの送本を実施しております。送本ご不要のお手続きは、以下にて受付けています。

- Fax: 075-213-1675
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP(会員事務手続)

*対象は CJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は、今まで通り全員に送本されます。

*CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

*CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※なお、CJ では、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

<http://www.j-circ.or.jp/journal/online%20Journal.htm>

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は、不要です。

氏 名：_____

会員番号：_____
(封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字)

年 月 日

(注) 氏名・会員番号は必ずご記入下さい。

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラムの送本等正確にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更のお届けをお願いしております。

ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。または、当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のIDを利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINIDの取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINIDが取得次第、順次IDと仮パスワードを郵送致します。
- UMINメールアドレスにつきましては、各先生方のID@umin.ac.jpにてご利用いただけます。電子メールソフトの設定の詳細はUMINホームページ(<http://www.umin.ac.jp/>)をご確認ください。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

○京都事務局(代表・学術集会・専門医・編集・国際交流・BLS / ACLS・禁煙等)

〒604-8172 京都府京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町599 CUBE OIKE 8F

TEL: 075-257-5830 / FAX: 075-213-1675

○東京事務所(総務・経理・情報広報)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

TEL: 03-5501-0861 / FAX: 03-5501-9855

各事務担当のメールアドレスのご案内	
代 表	admin@j-circ.or.jp
総務(登録事項変更・退会等)	soumu@j-circ.or.jp
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp
学術集会・ガイドライン関連	meeting@j-circ.or.jp
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp
情報広報(購読・HP・入会・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp
BLS / ACLS 事業関連	itc@j-circ.or.jp
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp
国際交流	international@j-circ.or.jp
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp
ホームページ URL	http://www.j-circ.or.jp/

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[ホームページからお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号 :	【6桁】	生年月日 : 19	年	月	日 (歳)
フリガナ :					
会員氏名 :					
(旧姓名 :)					
勤務先 :					
名 称					
部・科					
役 職					
所在地 〒 —					
代 表 TEL () — FAX () —					
内線					
直 通 TEL () — FAX () —					
旧勤務先名称 :					
自 宅 : 〒 —					
TEL () — FAX () —					
旧自宅住所 :					
E-mail :					
変更希望日 : 年 月 日 変更			送本先(連絡先) : ☐ 勤務先 ☐ 自宅		
英文誌 Circulation Journal の送付を : ☐ 希望する ☐ 希望しない					
退 会 届【退会希望者のみ記入】					
年 月 日をもって退会します。 / 退会事由 :					
事務局への通信欄 :					

*ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

*重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。